Business　Survey　Index　　令和５年 1-3 月 第 137 回

企業経営者意識調査

令和５年 1-3 月の概要

Ｐ　1

調査結果

１　経営状況　Ｐ　4
２　雇用状況　Ｐ　8
３　在庫、価格水準　Ｐ　12
４　設備投資の状況　Ｐ　14
５　地域別にみる各産業の動向　Ｐ　16
６　道内の景況感　Ｐ　24
７　業種・地域別企業経営者の声　Ｐ　25
８　業況感の長期推移　Ｐ　30

特別調査

１　新型コロナウイルス感染症の拡大による影響について　Ｐ　31
２　原油・原材料価格高騰の影響等について　Ｐ　38

調査方法

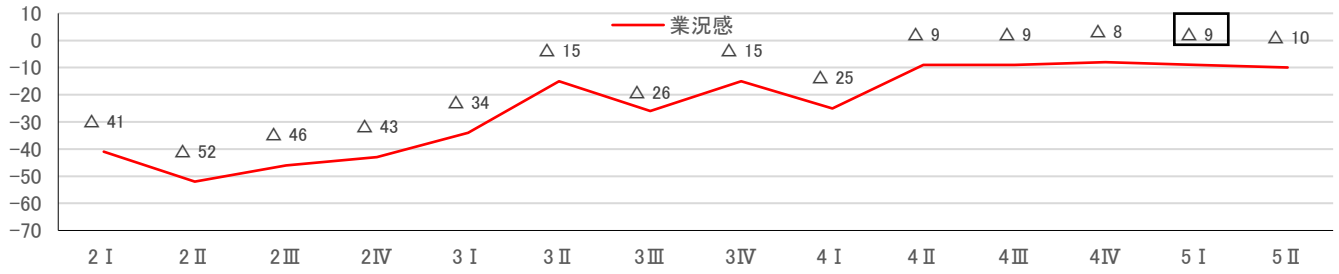
Ｐ　41

1　令和5年1-3月の概要

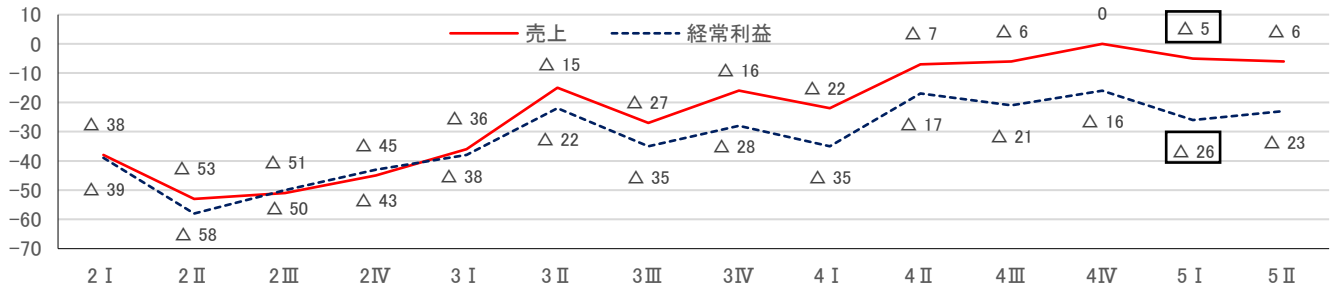
1　概況

- □ 調査対象企業数は900社、回答者数は546社、回答率は60.7%
- □ 業況感は、前期から1ポイント下落し△9ポイント。来期見通しは△10ポイント。
- □ 売上は、前期から5ポイント下落し△5ポイント。
- □ 経常利益は、前期から10ポイント下落し△26ポイント。
- □ 資金繰りは、前期から4ポイント下落し△9ポイント。
- □ 雇用者の不足感は、前期から2ポイント下落し44ポイント。
- □ 原材料価格（製造業）は、前期から11ポイント下落し82ポイント。
- □ 仕入価格（卸売・小売業）は、前期から4ポイント下落し84ポイント。
- □ 道内の景況感は、前期から3ポイント下落し△18ポイント。

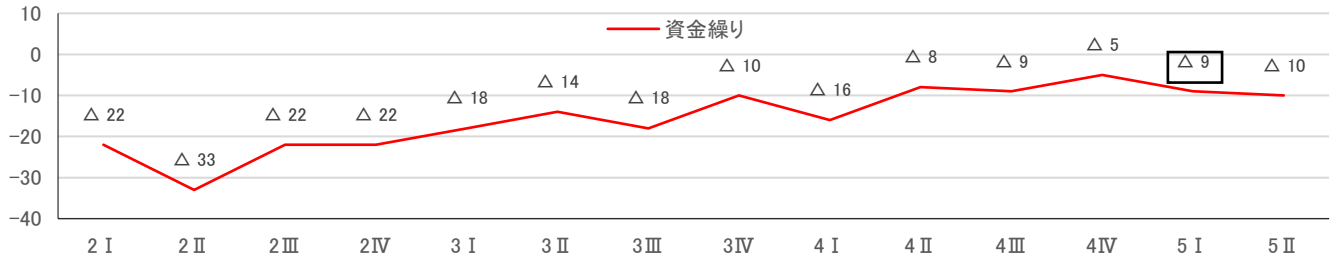
（1）業況感（「上昇」－「下降」）



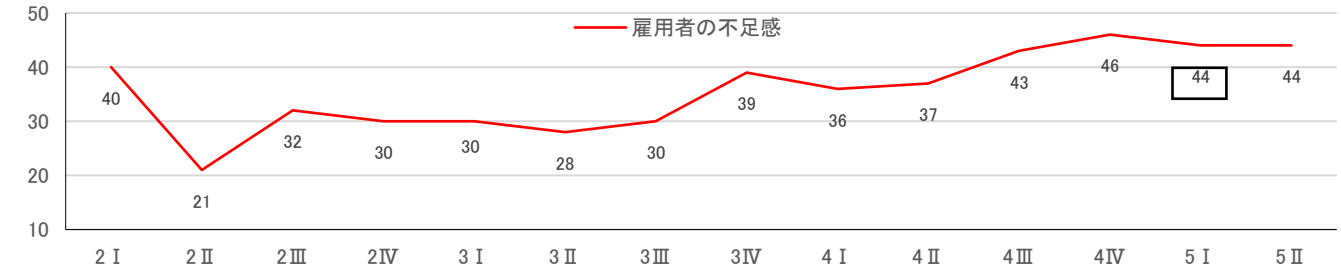
（2）売上・経常利益（「増加」－「減少」）



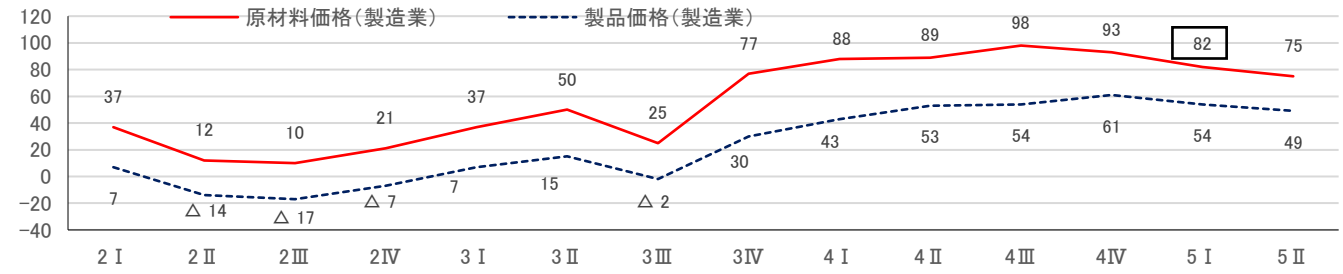
（3）資金繰り（「改善」－「悪化」）



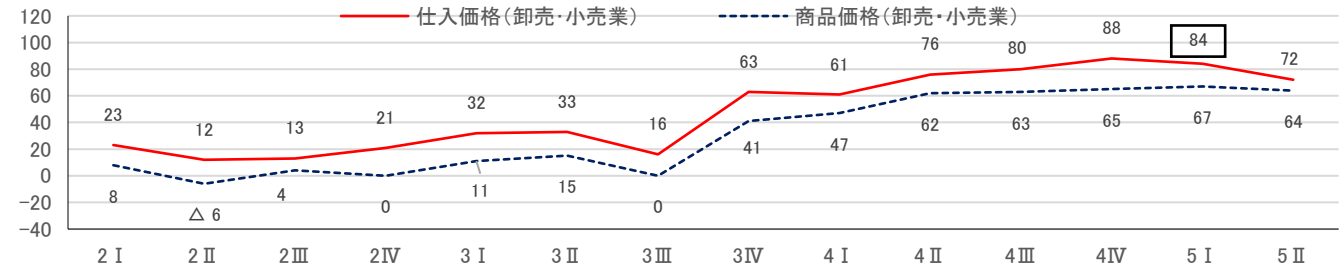
（4）雇用者の不足感（「不足」－「過剰」）



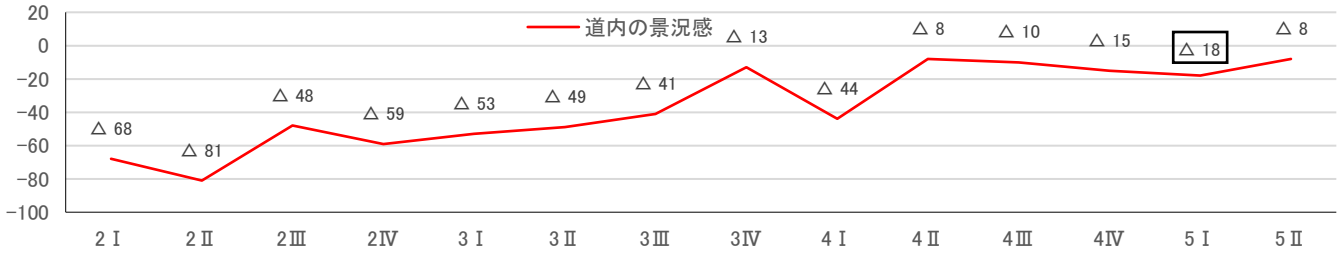
（5）原材料価格・製品価格［製造業］（「上昇」－「下降」）



（6）仕入価格・商品価格［卸売・小売業］（「上昇」－「下降」）



（7）道内の景況感（「上昇」－「下降」）



2　業種別・地域別の業況感

□ 業種別にみると、サービス業がプラスに転換、運輸業がマイナスに転換、建設業はマイナス幅が縮小、製造業、卸売・小売業はマイナス幅が拡大。

□ 地域別にみると、道央がマイナスに転換、道南、道北、十勝はマイナス幅が縮小、オホーツク、釧路・根室はマイナス幅が拡大。

（1）今期実績と来期見通し

区分		R4年10-12月実績	R5年1-3月実績					R5年4-6月見通し				
			上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
総　計		△ 8	15	61	24	△ 9	△ 1	12	66	22	△ 10	△ 1
業種	建設業	△ 26	2	77	21	△ 19	7	4	76	20	△ 16	3
	製造業	△ 12	15	52	33	△ 18	△ 6	9	60	31	△ 22	△ 4
	卸売・小売業	△ 7	16	57	27	△ 11	△ 4	15	57	28	△ 13	△ 2
	運輸業	3	15	66	19	△ 4	△ 7	9	78	13	△ 4	0
	サービス業	△ 1	22	59	19	3	4	17	66	17	0	△ 3
資本金	5千万円未満	△ 11	13	60	27	△ 14	△ 3	11	65	24	△ 13	1
	5千万円以上～1億円未満	△ 6	14	68	18	△ 4	2	7	71	22	△ 15	△ 11
	1億円以上	3	22	62	16	6	3	19	68	13	6	0
地域	道南	△ 14	14	61	25	△ 11	3	9	66	25	△ 16	△ 5
	道央	1	18	62	20	△ 2	△ 3	16	65	19	△ 3	△ 1
	道北	△ 14	14	61	25	△ 11	3	11	75	14	△ 3	8
	オホーツク	△ 6	11	64	25	△ 14	△ 8	5	70	25	△ 20	△ 6
	十勝	△ 25	14	50	36	△ 22	3	12	53	35	△ 23	△ 1
	釧路・根室	△ 14	8	67	25	△ 17	△ 3	4	66	30	△ 26	△ 9

（2）業種別の主な上昇・下降業種［中分類］

（括弧内の数字は、前期→今期の変化）

大分類	上昇業種	下降業種
建設業 （△26→△19）	総合工事業（△29→△21）	
製造業 （△12→△18）	食料品製造業（0→11） 輸送用機械器具製造業（△33→△16）	木材・木製品製造業（△11→△38） 金属製品製造業（△18→△42） 化学工業（△14→△33） 窯業・土石製品製造業（△10→△11） 生産用機械器具製造業（△50→△62）
卸売・小売業 （△7→△11）	建築材料、鉱物・金属材料等卸売業（△32→△18） 機械器具小売業（△20→△6）	機械器具卸売業（0→△33） 飲食料品卸売業（△7→△8） 飲食料品小売業（23→0）
運輸業 （3→△4）	道路貨物運送業（△17→△15）	道路旅客運送業（35→18） 倉庫業（6→△11）
サービス業 （△1→3）	情報サービス業（△26→△5） 宿泊業（37→40） 技術サービス業（△26→△14） 飲食店（0→25）	物品賃貸業（△10→△11） 洗濯・理容・美容・浴場業（16→△8） 自動車整備業（△10→△33）

（3）地域別の上昇・下降業種［大分類］

（括弧内の数字は、前期→今期の変化）

地　域	上昇業種	下降業種
道南 （△14→△11）	建設業（△33→△20） 製造業（△50→0）	卸売･小売業（△11→△30） サービス業（△10→△22） 運輸業（36→30）
道央 （1→△2）	建設業（△24→△6） サービス業（10→12）	製造業（△7→△14） 卸売･小売業（8→△2） 運輸業（0→△18）
道北 （△14→△11）	卸売･小売業（△27→△25） 運輸業（6→14） サービス業（△16→△4）	建設業（△25→△33） 製造業（△10→△11）
オホーツク （△6→△14）	卸売･小売業（△23→△16） サービス業（△20→25）	建設業（△18→△27） 製造業（22→△38） 運輸業（10→△9）
十勝 （△25→△22）	建設業（△40→△36） 卸売･小売業（△30→0） 運輸業（△23→△18） サービス業（△29→△11）	製造業（0→△37）
釧路･根室 （△14→△17）	建設業（△18→△10）	製造業（△30→△36） 卸売･小売業（△18→△20） サービス業（0→△18）

2　調査結果

1　経営状況

（1）業況感

今期の業況感BSIは △9（前期から1ポイント下降）

- 業種別にみると、サービス業はプラスに転換、運輸業はマイナスに転換、建設業はマイナス幅が縮小、製造業、卸売・小売業はマイナス幅が拡大。
- 地域別にみると、道央はマイナスに転換、道南、道北、十勝はマイナス幅が縮小、オホーツク、釧路・根室はマイナス幅が拡大。

来期の業況感BSIは △10（今期から1ポイント下降）

図1－(1)　業況感

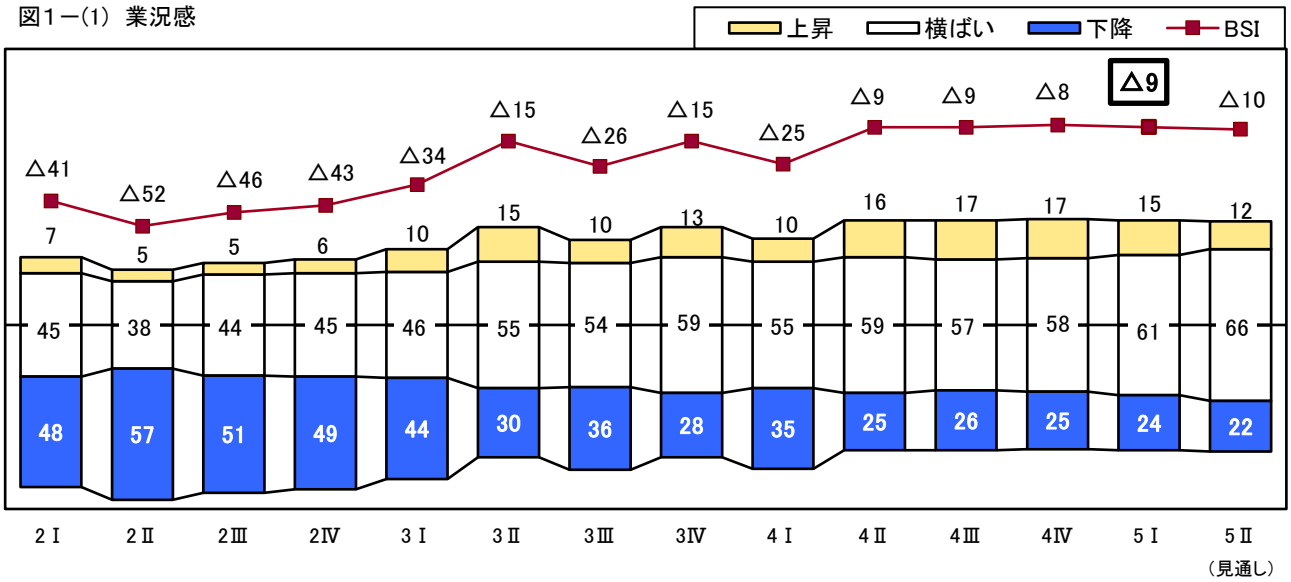


表1-(1)　業況感（業種・資本金・地域別）

区分		R4年10-12月実績	R5年1-3月実績					R5年4-6月見通し				
			上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
総　計		△ 8	15	61	24	△ 9	△ 1	12	66	22	△ 10	△ 1
	札幌市を除く	△ 11	13	61	26	△ 13	△ 2	11	65	24	△ 13	0
	札幌市	3	22	62	16	6	3	15	72	13	2	△ 4
業種	建設業	△ 26	2	77	21	△ 19	7	4	76	20	△ 16	3
	製造業	△ 12	15	52	33	△ 18	△ 6	9	60	31	△ 22	△ 4
	卸売・小売業	△ 7	16	57	27	△ 11	△ 4	15	57	28	△ 13	△ 2
	運輸業	3	15	66	19	△ 4	△ 7	9	78	13	△ 4	0
	サービス業	△ 1	22	59	19	3	4	17	66	17	0	△ 3
資本金	5千万円未満	△ 11	13	60	27	△ 14	△ 3	11	65	24	△ 13	1
	5千万円以上～1億円未満	△ 6	14	68	18	△ 4	2	7	71	22	△ 15	△ 11
	1億円以上	3	22	62	16	6	3	19	68	13	6	0
地域	道南	△ 14	14	61	25	△ 11	3	9	66	25	△ 16	△ 5
	道央	1	18	62	20	△ 2	△ 3	16	65	19	△ 3	△ 1
	札幌市を除く	△ 2	13	63	24	△ 11	△ 9	16	60	24	△ 8	3
	札幌市	3	22	62	16	6	3	15	72	13	2	△ 4
	道北	△ 14	14	61	25	△ 11	3	11	75	14	△ 3	8
	オホーツク	△ 6	11	64	25	△ 14	△ 8	5	70	25	△ 20	△ 6
	十勝	△ 25	14	50	36	△ 22	3	12	53	35	△ 23	△ 1
	釧路・根室	△ 14	8	67	25	△ 17	△ 3	4	66	30	△ 26	△ 9

（2） 売上（生産）高

今期の売上(生産)高BSIは △5（前期から5ポイント下降）

- 業種別でみると、卸売・小売業、運輸業はプラス幅が縮小、サービス業は横ばい、製造業はマイナスに転換、建設業はマイナス幅が縮小。

- 地域別でみると、道央はプラス幅が縮小、道北は横ばい、オホーツクはマイナスに転換、道南、十勝、釧路・根室はマイナス幅が拡大。

来期の売上(生産)高BSIは △6（今期から1ポイント下降）

図1－(2) 売上（生産）高

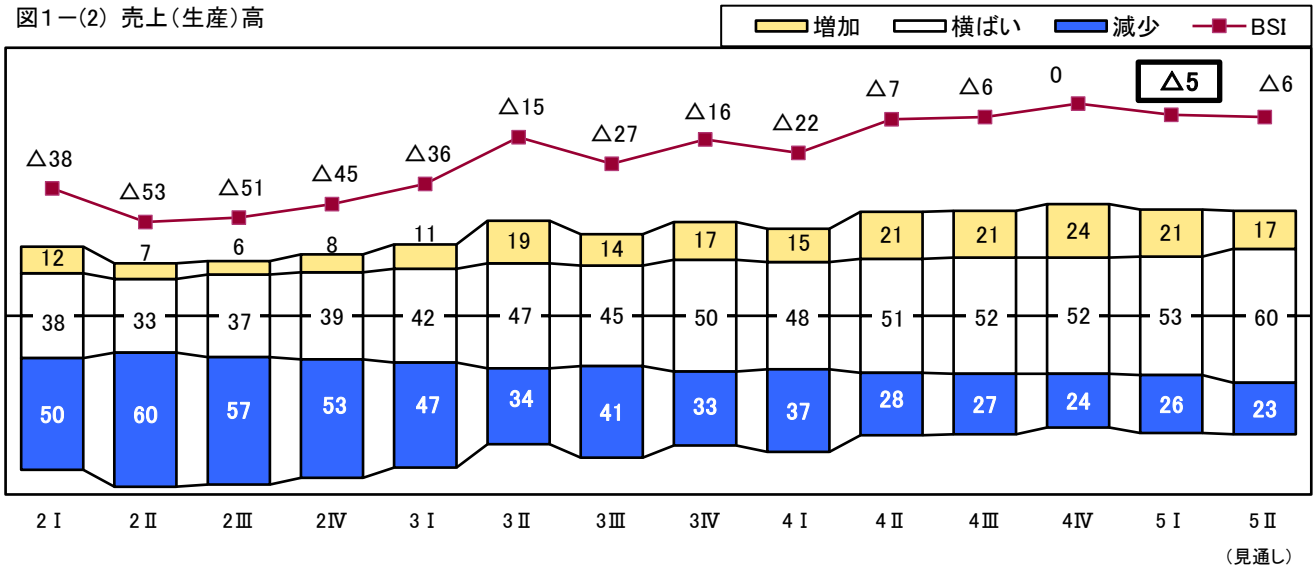


表1-(2) 売上（生産）高（業種・資本金・地域別）

区分		R4年10-12月実績	R5年1-3月実績 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	R5年4-6月見通し 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
総計		0	21	53	26	△ 5	△ 5	17	60	23	△ 6	△ 1
	札幌市を除く	△ 5	17	55	28	△ 11	△ 6	13	61	26	△ 13	△ 2
	札幌市	16	31	50	19	12	△ 4	28	59	13	15	3
業種	建設業	△ 26	10	57	33	△ 23	3	7	65	28	△ 21	2
	製造業	2	19	49	32	△ 13	△ 15	17	53	30	△ 13	0
	卸売・小売業	9	27	48	25	2	△ 7	20	57	23	△ 3	△ 5
	運輸業	13	20	62	18	2	△ 11	11	74	15	△ 4	△ 6
	サービス業	0	23	54	23	0	0	23	57	20	3	3
資本金	5千万円未満	△ 7	16	55	29	△ 13	△ 6	15	59	26	△ 11	2
	5千万円以上～1億円未満	5	22	57	21	1	△ 4	14	65	21	△ 7	△ 8
	1億円以上	21	37	46	17	20	△ 1	29	60	11	18	△ 2
地域	道南	△ 11	16	54	30	△ 14	△ 3	16	51	33	△ 17	△ 3
	道央	11	26	53	21	5	△ 6	23	60	17	6	1
	札幌市を除く	5	21	55	24	△ 3	△ 8	17	61	22	△ 5	△ 2
	札幌市	16	31	50	19	12	△ 4	28	59	13	15	3
	道北	△ 6	18	58	24	△ 6	0	14	66	20	△ 6	0
	オホーツク	0	18	52	30	△ 12	△ 12	5	65	30	△ 25	△ 13
	十勝	△ 10	22	42	36	△ 14	△ 4	16	49	35	△ 19	△ 5
	釧路・根室	△ 14	7	60	33	△ 26	△ 12	6	70	24	△ 18	8

（3）経常利益

今期の経常利益BSIは △26（前期から10ポイント下降 ）

・ 業種別でみると、全ての業種でマイナス幅が拡大。

・ 地域別でみると、全ての地域でマイナス幅が拡大。

来期の経常利益BSIは △23（今期から3ポイント上昇）

図1－(3) 経常利益

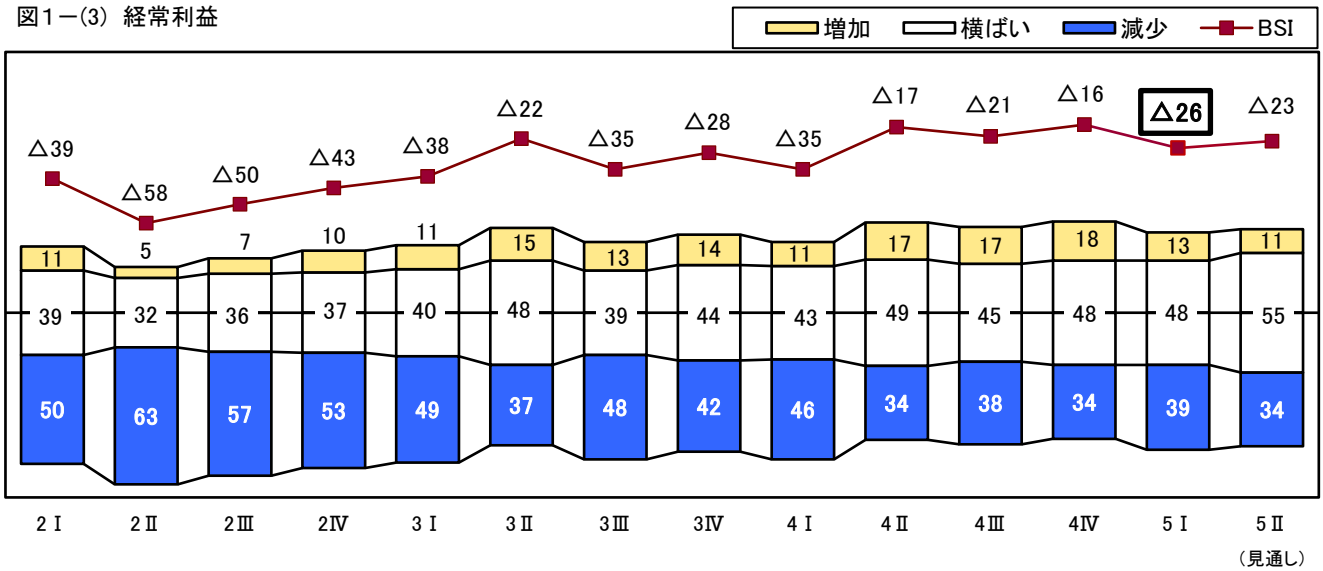


表1-(3) 経常利益（業種・資本金・地域別）

区分		R4年10-12月実績	R5年1-3月実績					R5年4-6月見通し				
			上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
総計		△ 16	13	48	39	△ 26	△ 10	11	55	34	△ 23	3
	札幌市を除く	△ 19	12	48	40	△ 28	△ 9	9	55	36	△ 27	1
	札幌市	△ 4	19	46	35	△ 16	△ 12	17	59	24	△ 7	9
業種	建設業	△ 41	4	45	51	△ 47	△ 6	7	52	41	△ 34	13
	製造業	△ 20	12	42	46	△ 34	△ 14	8	49	43	△ 35	△ 1
	卸売・小売業	△ 9	12	53	35	△ 23	△ 14	9	55	36	△ 27	△ 4
	運輸業	△ 3	15	57	28	△ 13	△ 10	8	66	26	△ 18	△ 5
	サービス業	△ 10	20	45	35	△ 15	△ 5	18	57	25	△ 7	8
資本金	5千万円未満	△ 20	11	49	40	△ 29	△ 9	10	55	35	△ 25	4
	5千万円以上～1億円未満	△ 12	12	46	42	△ 30	△ 18	7	59	34	△ 27	3
	1億円以上	△ 3	24	46	30	△ 6	△ 3	17	58	25	△ 8	△ 2
地域	道南	△ 22	9	50	41	△ 32	△ 10	6	53	41	△ 35	△ 3
	道央	△ 8	16	48	36	△ 20	△ 12	14	58	28	△ 14	6
	札幌市を除く	△ 12	13	50	37	△ 24	△ 12	10	58	32	△ 22	2
	札幌市	△ 4	19	46	35	△ 16	△ 12	17	59	24	△ 7	9
	道北	△ 20	13	53	34	△ 21	△ 1	12	60	28	△ 16	5
	オホーツク	△ 20	14	45	41	△ 27	△ 7	5	55	40	△ 35	△ 8
	十勝	△ 27	12	34	54	△ 42	△ 15	12	39	49	△ 37	5
	釧路・根室	△ 23	7	52	41	△ 34	△ 11	4	55	41	△ 37	△ 3

（4）資金繰り

今期の資金繰りBSIは △9（前期から4ポイント下降）

- 業種別にみると、運輸業はマイナスに転換、卸売・小売業は横ばい、建設業、製造業、サービス業はマイナス幅が拡大。
- 地域別にみると、オホーツク、釧路・根室はマイナス幅が縮小、道南、道央、道北、十勝はマイナス幅が拡大

来期の資金繰りBSIは △10（今期から1ポイント下降）

図1－(4) 資金繰り

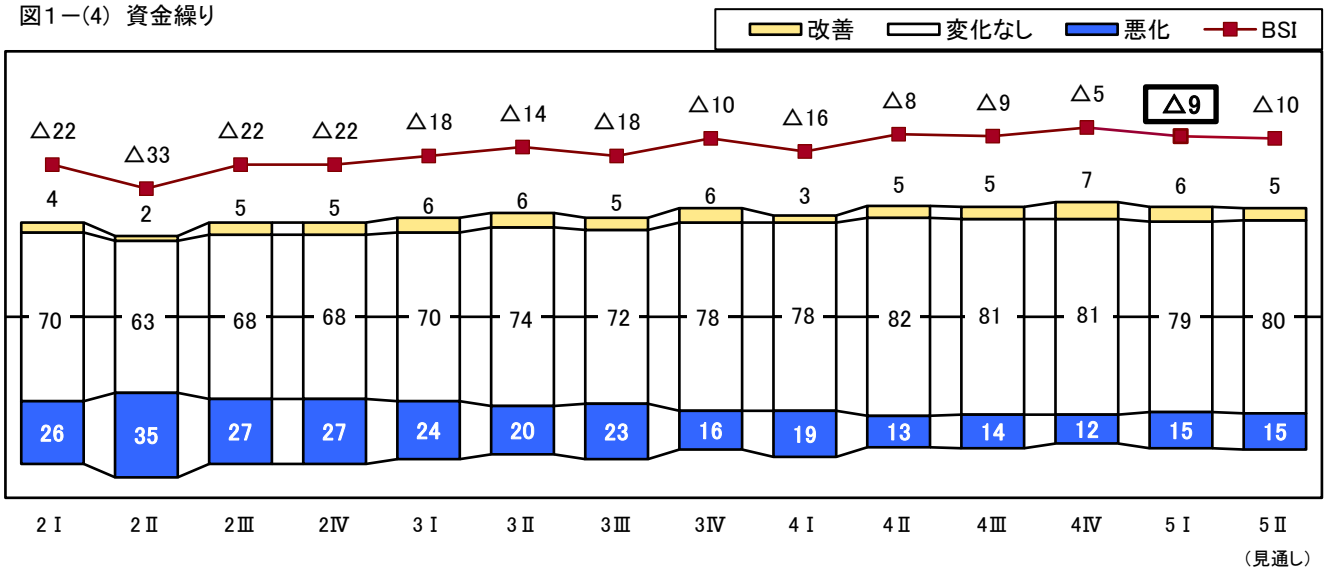


表1-(4) 資金繰り（業種・資本金・地域別）

区分		R4年10-12月実績	R5年1-3月実績 改善	変化なし	悪化	BSI	変化幅	R5年4-6月見通し 改善	変化なし	悪化	BSI	変化幅
総計		△ 5	6	79	15	△ 9	△ 4	5	80	15	△ 10	△ 1
	札幌市を除く	△ 7	6	79	15	△ 9	△ 2	5	79	16	△ 11	△ 2
	札幌市	△ 1	6	77	17	△ 11	△ 10	6	82	12	△ 6	5
業種	建設業	△ 5	1	87	12	△ 11	△ 6	1	89	10	△ 9	2
	製造業	△ 10	5	75	20	△ 15	△ 5	3	74	23	△ 20	△ 5
	卸売・小売業	△ 8	7	78	15	△ 8	0	5	79	16	△ 11	△ 3
	運輸業	1	6	85	9	△ 3	△ 4	5	86	9	△ 4	△ 1
	サービス業	△ 5	10	72	18	△ 8	△ 3	9	75	16	△ 7	1
資本金	5千万円未満	△ 8	5	77	18	△ 13	△ 5	3	78	19	△ 16	△ 3
	5千万円以上～1億円未満	△ 2	8	84	8	0	2	8	83	9	△ 1	△ 1
	1億円以上	4	8	81	11	△ 3	△ 7	8	87	5	3	6
地域	道南	△ 9	3	78	19	△ 16	△ 7	3	78	19	△ 16	0
	道央	△ 3	7	78	15	△ 8	△ 5	5	81	14	△ 9	△ 1
	札幌市を除く	△ 6	7	80	13	△ 6	0	4	80	16	△ 12	△ 6
	札幌市	△ 1	6	77	17	△ 11	△ 10	6	82	12	△ 6	5
	道北	△ 2	8	76	16	△ 8	△ 6	7	80	13	△ 6	2
	オホーツク	△ 8	9	82	9	0	8	2	86	12	△ 10	△ 10
	十勝	△ 4	8	72	20	△ 12	△ 8	8	74	18	△ 10	2
	釧路・根室	△ 13	2	85	13	△ 11	2	2	78	20	△ 18	△ 7

2　雇用状況

（1）雇用者総数

今期の雇用者総数BSIは △9（前期から2ポイント上昇）

- 業種別にみると、建設業、製造業、運輸業、サービス業はマイナス幅が縮小、卸売・小売業はマイナス幅が拡大
- 地域別にみると、道南、道央、十勝、釧路・根室はマイナス幅が縮小、道北、オホーツクはマイナス幅が拡大

来期の雇用者総数BSIは 2（今期から11ポイント上昇）

図2－(1)　雇用者総数

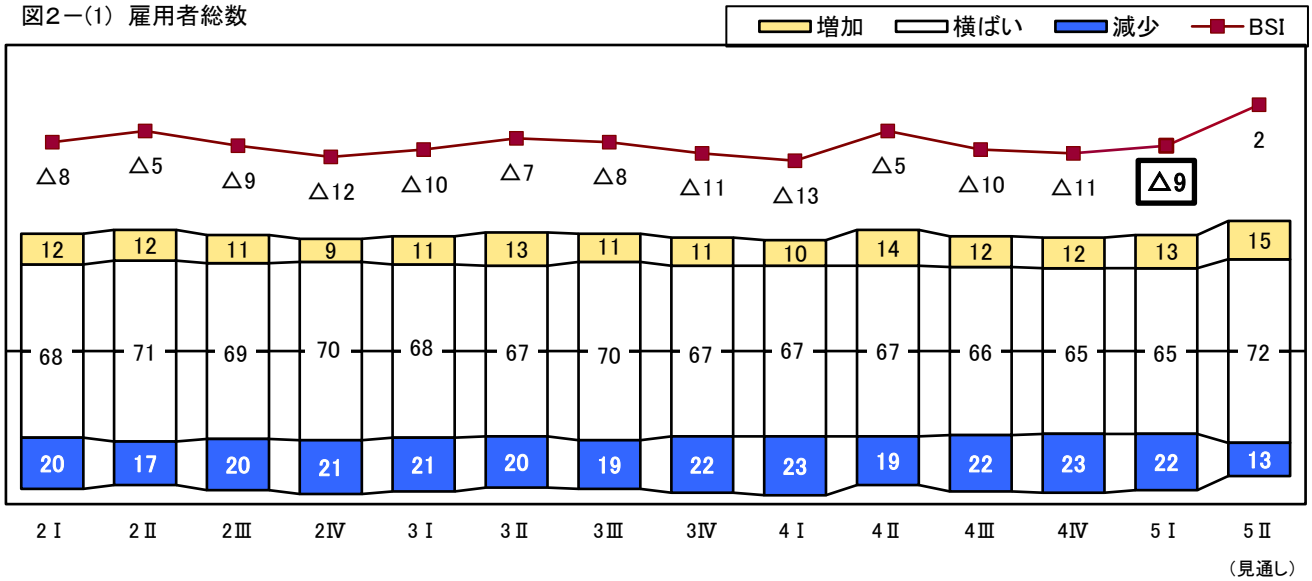


表2-(1)　雇用者総数（業種・資本金・地域別）

区分		R4年10-12月実績	R5年1-3月実績					R5年4-6月見通し				
			増加	横ばい	減少	BSI	変化幅	増加	横ばい	減少	BSI	変化幅
総　計		△ 11	13	65	22	△ 9	2	15	72	13	2	11
	札幌市を除く	△ 14	11	66	23	△ 12	2	13	73	14	△ 1	11
	札幌市	△ 3	20	60	20	0	3	21	69	10	11	11
業種	建設業	△ 6	13	70	17	△ 4	2	18	72	10	8	12
	製造業	△ 18	10	65	25	△ 15	3	14	73	13	1	16
	卸売・小売業	△ 5	11	69	20	△ 9	△ 4	16	75	9	7	16
	運輸業	△ 28	10	63	27	△ 17	11	10	70	20	△ 10	7
	サービス業	△ 4	19	59	22	△ 3	1	16	71	13	3	6
資本金	5千万円未満	△ 11	11	64	25	△ 14	△ 3	13	73	14	△ 1	13
	5千万円以上～1億円未満	△ 17	20	64	16	4	21	19	71	10	9	5
	1億円以上	0	17	67	16	1	1	20	70	10	10	9
地域	道南	△ 15	10	74	16	△ 6	9	13	79	8	5	11
	道央	△ 8	15	65	20	△ 5	3	16	73	11	5	10
	札幌市を除く	△ 13	9	71	20	△ 11	2	10	78	12	△ 2	9
	札幌市	△ 3	20	60	20	0	3	21	69	10	11	11
	道北	△ 9	16	52	32	△ 16	△ 7	16	62	22	△ 6	10
	オホーツク	△ 4	14	56	30	△ 16	△ 12	12	76	12	0	16
	十勝	△ 14	14	68	18	△ 4	10	17	68	15	2	6
	釧路・根室	△ 24	6	74	20	△ 14	10	13	76	11	2	16

（2）雇用者の不足感

今期の雇用者の不足感BSIは 44（前期から2ポイント下降）

- 業種別にみると、製造業はプラス幅が拡大、建設業、卸売・小売業、運輸業、サービス業はプラス幅が縮小。
- 地域別にみると、道北、オホーツクはプラス幅が拡大、道南、道央、十勝、釧路・根室はプラス幅が縮小。

来期の雇用者の不足感BSIは 44（今期から横ばい）

図2－(2) 雇用者の不足感

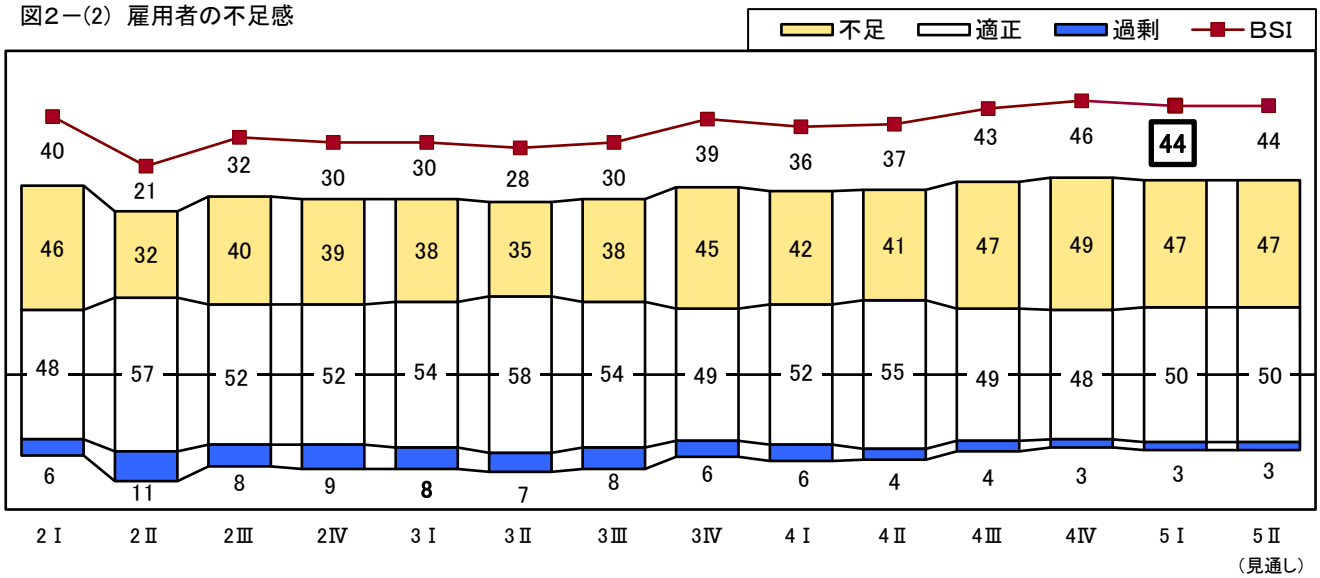


表2-(2) 雇用者の不足感（業種・資本金・地域別）

区分		R4年10-12月実績	R5年1-3月実績					R5年4-6月見通し				
			不足	適正	過剰	BSI	変化幅	不足	適正	過剰	BSI	変化幅
総計		46	47	50	3	44	△ 2	47	50	3	44	0
	札幌市を除く	48	48	50	2	46	△ 2	50	47	3	47	1
	札幌市	38	41	55	4	37	△ 1	37	59	4	33	△ 4
業種	建設業	60	56	41	3	53	△ 7	60	38	2	58	5
	製造業	41	46	51	3	43	2	42	55	3	39	△ 4
	卸売・小売業	35	37	58	5	32	△ 3	39	54	7	32	0
	運輸業	58	55	45	0	55	△ 3	60	39	1	59	4
	サービス業	42	43	54	3	40	△ 2	41	56	3	38	△ 2
資本金	5千万円未満	44	45	52	3	42	△ 2	47	50	3	44	2
	5千万円以上～1億円未満	55	52	45	3	49	△ 6	52	44	4	48	△ 1
	1億円以上	46	48	50	2	46	0	43	55	2	41	△ 5
地域	道南	44	44	53	3	41	△ 3	48	47	5	43	2
	道央	42	42	55	3	39	△ 3	40	56	4	36	△ 3
	札幌市を除く	47	43	55	2	41	△ 6	44	53	3	41	0
	札幌市	38	41	55	4	37	△ 1	37	59	4	33	△ 4
	道北	54	59	40	1	58	4	64	35	1	63	5
	オホーツク	44	64	34	2	62	18	60	38	2	58	△ 4
	十勝	52	43	51	6	37	△ 15	48	46	6	42	5
	釧路・根室	49	40	58	2	38	△ 11	38	60	2	36	△ 2

（3）残業時間

今期の残業時間BSIは△13（前期から5ポイント下降）

- 業種別にみると、製造業、運輸業、サービス業はマイナス幅が拡大、建設業は横ばい、卸売・小売業はマイナス幅が縮小

- 地域別にみると、道南、道央、道北、オホーツク、十勝はマイナス幅が拡大、釧路・根室はマイナス幅が縮小

来期の残業時間BSIは△9（今期から4ポイント上昇）

図2－(3) 残業時間

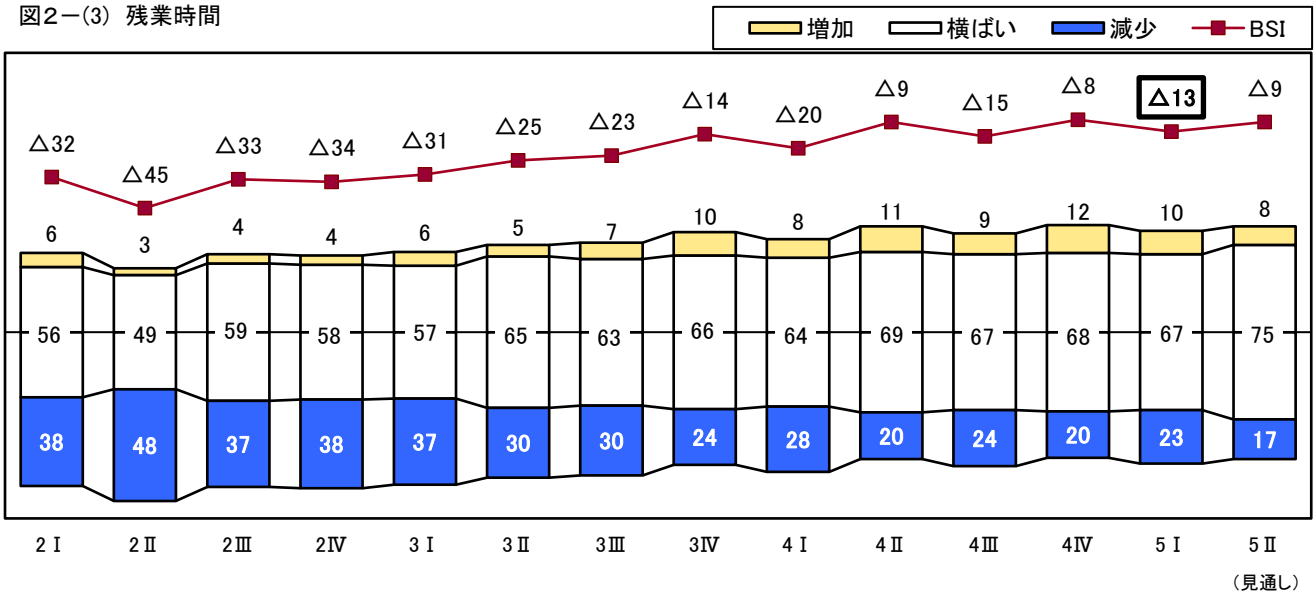


表2-(3) 残業時間（業種・資本金・地域別）

区分		R4年10-12月実績	R5年1-3月実績					R5年4-6月見通し				
			増加	横ばい	減少	BSI	変化幅	増加	横ばい	減少	BSI	変化幅
総計		△ 8	10	67	23	△ 13	△ 5	8	75	17	△ 9	4
	札幌市を除く	△ 10	9	67	24	△ 15	△ 5	7	76	17	△ 10	5
	札幌市	△ 4	12	67	21	△ 9	△ 5	10	76	14	△ 4	5
業種	建設業	△ 19	6	69	25	△ 19	0	2	78	20	△ 18	1
	製造業	△ 6	11	61	28	△ 17	△ 11	7	74	19	△ 12	5
	卸売・小売業	△ 6	11	75	14	△ 3	3	7	78	15	△ 8	△ 5
	運輸業	△ 6	8	63	29	△ 21	△ 15	7	80	13	△ 6	15
	サービス業	△ 7	12	67	21	△ 9	△ 2	12	73	15	△ 3	6
資本金	5千万円未満	△ 16	8	67	25	△ 17	△ 1	6	76	18	△ 12	5
	5千万円以上～1億円未満	5	11	71	18	△ 7	△ 12	8	81	11	△ 3	4
	1億円以上	10	18	62	20	△ 2	△ 12	12	72	16	△ 4	△ 2
地域	道南	△ 4	8	72	20	△ 12	△ 8	5	82	13	△ 8	4
	道央	△ 3	13	64	23	△ 10	△ 7	10	74	16	△ 6	4
	札幌市を除く	△ 1	15	60	25	△ 10	△ 9	9	73	18	△ 9	1
	札幌市	△ 4	12	67	21	△ 9	△ 5	10	76	14	△ 4	5
	道北	△ 10	11	64	25	△ 14	△ 4	7	75	18	△ 11	3
	オホーツク	△ 10	5	74	21	△ 16	△ 6	7	79	14	△ 7	9
	十勝	△ 12	6	70	24	△ 18	△ 6	6	79	15	△ 9	9
	釧路・根室	△ 28	4	72	24	△ 20	8	4	70	26	△ 22	△ 2

（4）１人当たり賃金

今期の１人当たり賃金BSIは37（前期から4ポイント下降）

- 業種別にみると、建設業、サービス業はプラス幅が拡大、製造業、卸売・小売業、運輸業はプラス幅が縮小。
- 地域別にみると、道南はプラス幅が拡大、釧路・根室は横ばい、道央、道北、オホーツク、十勝はプラス幅が縮小。

来期の１人当たり賃金BSIは39（今期から2ポイント上昇）

図２－(4)　１人当たり賃金

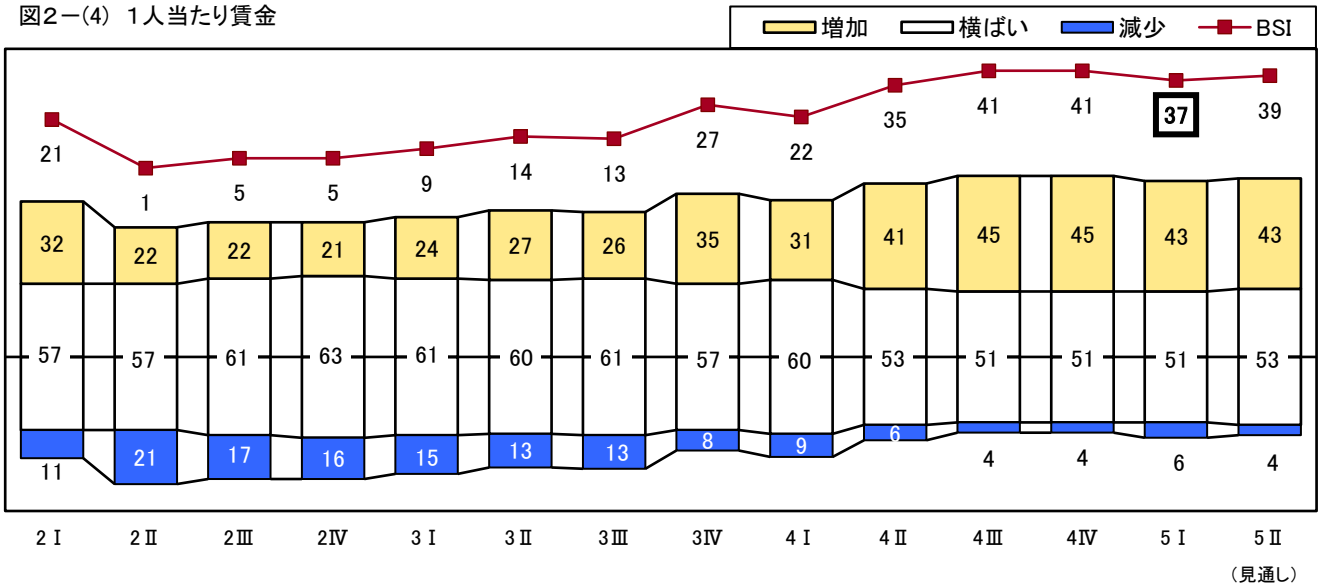


表2-(4)　１人当たり賃金（業種・資本金・地域別）

区分		R4年10-12月実績	R5年1-3月実績					R5年4-6月見通し				
			増加	横ばい	減少	BSI	変化幅	増加	横ばい	減少	BSI	変化幅
総　計		41	43	51	6	37	△ 4	43	53	4	39	2
	札幌市を除く	40	45	48	7	38	△ 2	42	53	5	37	△ 1
	札幌市	45	39	59	2	37	△ 8	44	54	2	42	5
業種	建設業	62	63	37	0	63	1	63	36	1	62	△ 1
	製造業	46	46	47	7	39	△ 7	41	56	3	38	△ 1
	卸売・小売業	42	39	57	4	35	△ 7	39	58	3	36	1
	運輸業	29	29	61	10	19	△ 10	36	60	4	32	13
	サービス業	33	42	52	6	36	3	38	55	7	31	△ 5
資本金	5千万円未満	37	41	52	7	34	△ 3	39	55	6	33	△ 1
	5千万円以上～1億円未満	53	45	53	2	43	△ 10	51	48	1	50	7
	1億円以上	42	49	47	4	45	3	48	52	0	48	3
地域	道南	40	45	52	3	42	2	44	54	2	42	0
	道央	38	41	55	4	37	△ 1	42	55	3	39	2
	札幌市を除く	29	43	52	5	38	9	39	57	4	35	△ 3
	札幌市	45	39	59	2	37	△ 8	44	54	2	42	5
	道北	47	46	43	11	35	△ 12	46	48	6	40	5
	オホーツク	46	43	48	9	34	△ 12	35	58	7	28	△ 6
	十勝	50	51	41	8	43	△ 7	50	42	8	42	△ 1
	釧路・根室	39	43	53	4	39	0	41	55	4	37	△ 2

3　在庫、価格水準

（1）製造業

今期の実績

・製品在庫水準は、前期と比べ、「過大」が拡大。

・仕入価格は、前期と比べ、「上昇」が縮小、「下降」が拡大

・製品価格は、前期と比べ、「上昇」が縮小、「下降」が拡大

来期の見通し

・製品在庫水準は、「適正」が拡大、「不足」「過大」が縮小

・仕入価格は、「横ばい」が拡大、「上昇」が縮小

・製品価格は、「横ばい」が拡大、「上昇」が縮小

図3－(1)　製品在庫水準

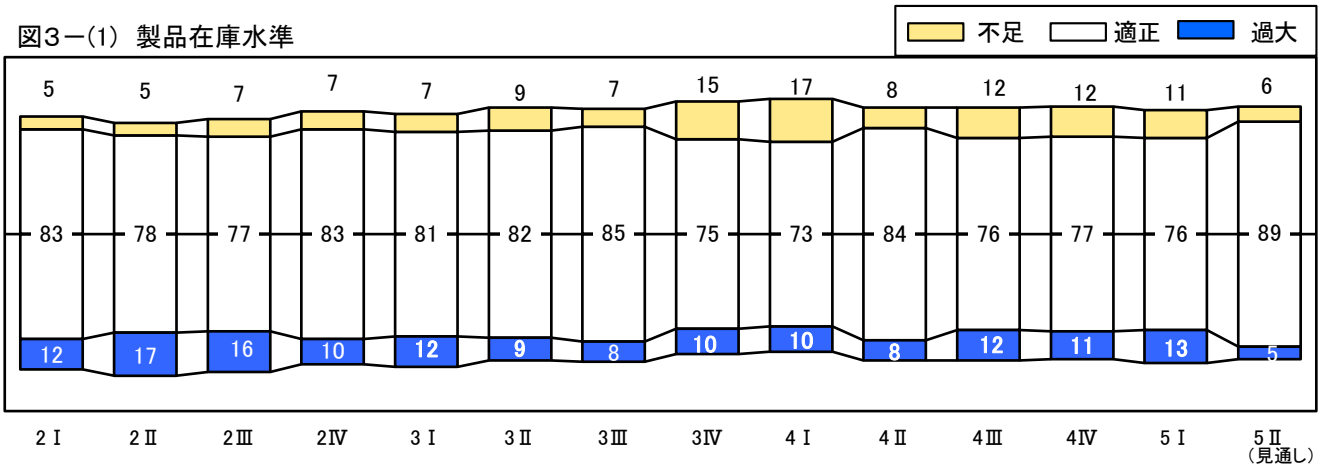


図3－(2)　仕入価格（原材料）

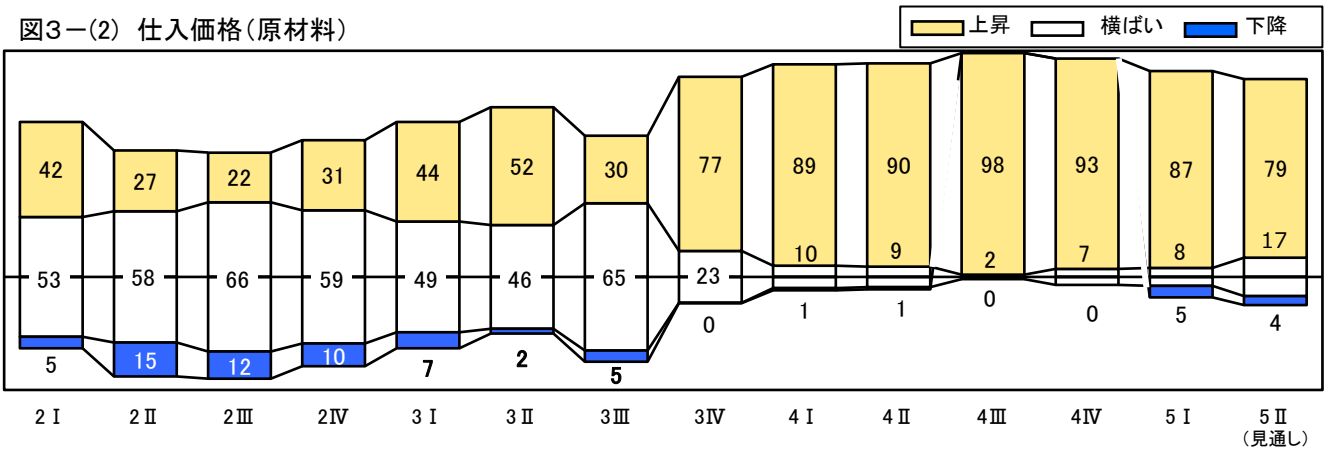
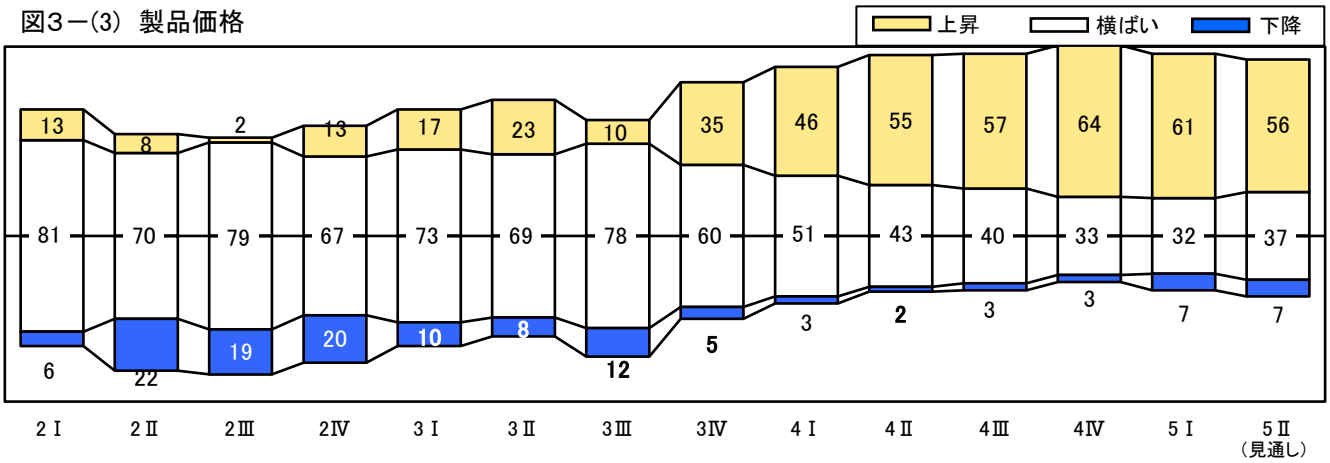


図3－(3)　製品価格



（2）卸売・小売業

今期の実績

・商品在庫水準は、前期と比べ、「適正」が拡大、「不足」が縮小

・仕入価格は、前期と比べ、「横ばい」が拡大、「上昇」が縮小

・商品価格は、前期と比べ、「上昇」が拡大、「横ばい」が縮小

来期の見通し

・商品在庫水準は、「適正」が拡大、「過大」が縮小

・仕入価格は、「横ばい」が拡大、「上昇」が縮小

・商品価格は、「横ばい」が拡大、「上昇」「下降」が縮小

図3－(4) 商品在庫水準

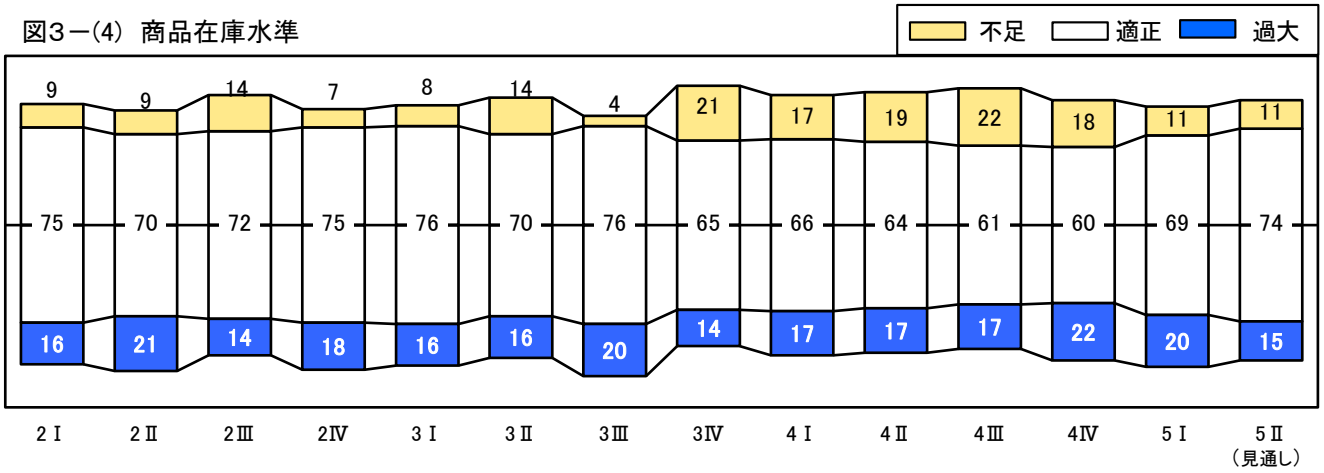


図3－(5) 仕入価格（商品）

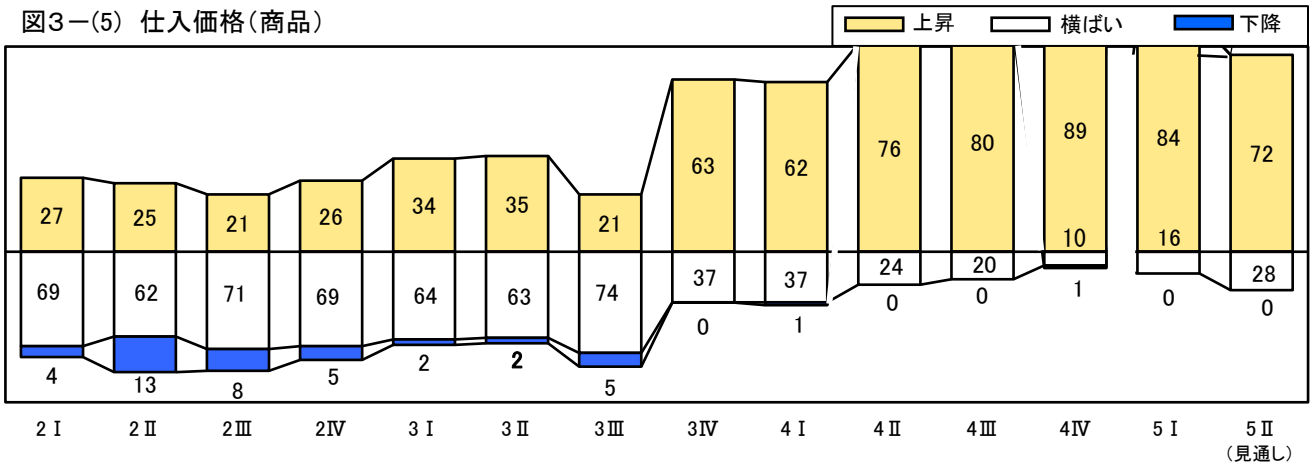
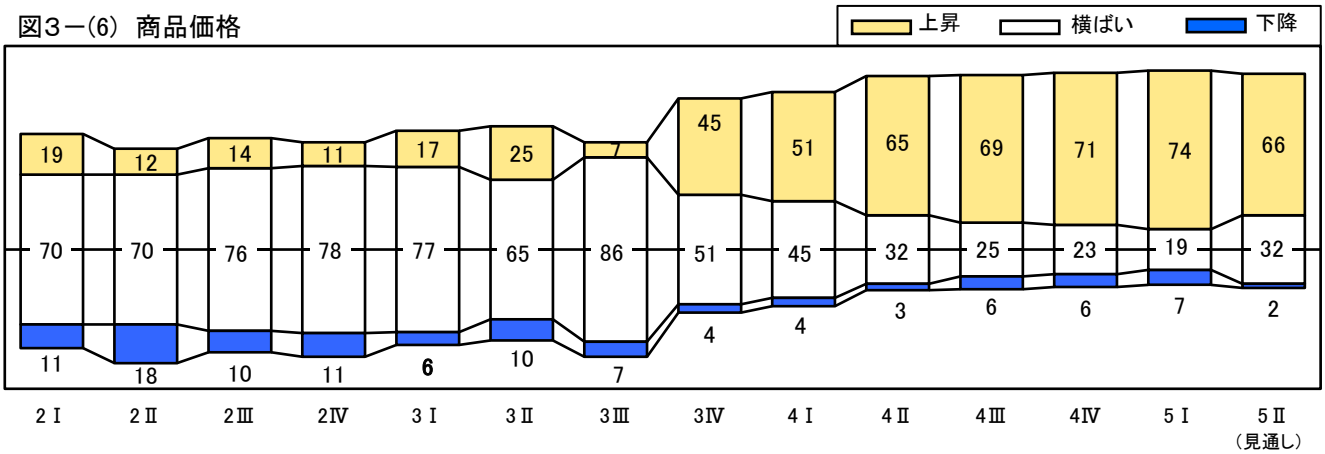


図3－(6) 商品価格



4　設備投資の状況

今期の実績

- 「設備投資をした」と回答した企業は32%で、前期から下降。
- 設備投資の目的については、「設備更新」が77%、「生産・販売能力拡大」が26%「合理化・省力化」が25%（複数回答）

来期の見通し

- 「設備投資をする」と回答した企業は35%で、今期から3%上昇。
- 設備投資の目的については、「設備更新」が83%、「合理化・省力化」が30%、「生産・販売能力拡大」が18%（複数回答）

図4－(1)　設備投資の状況

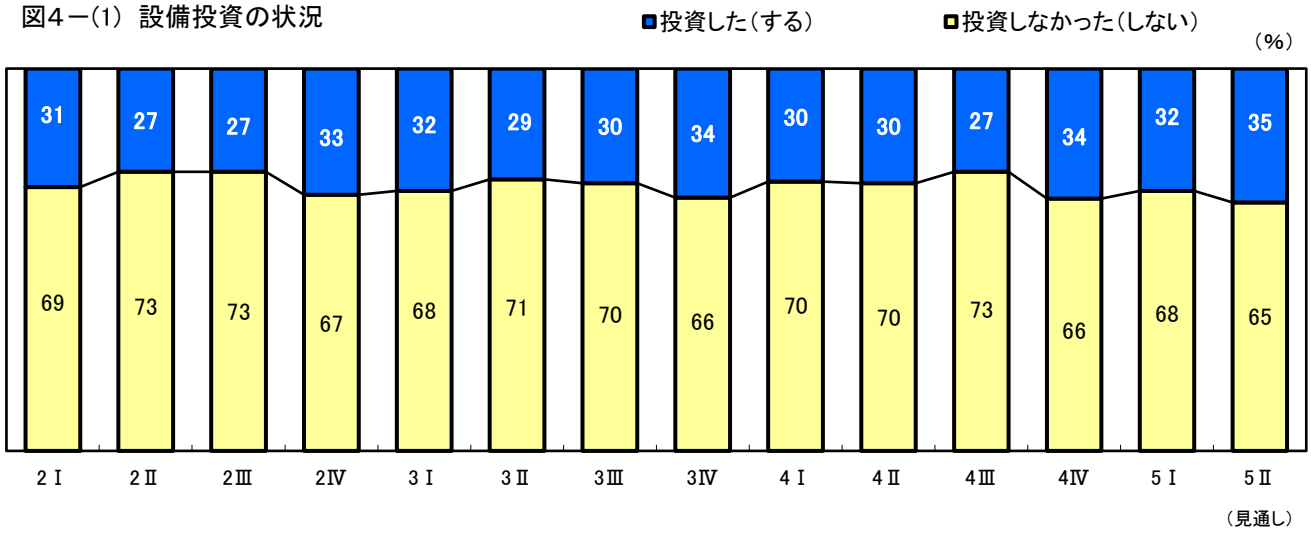


図4－(2)　設備投資の目的（複数回答）

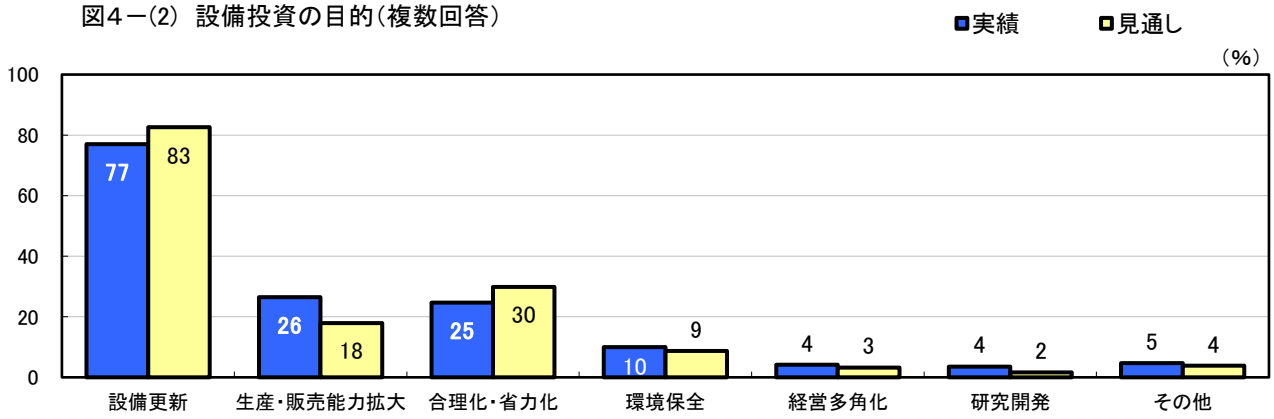


表4-(1) 設備投資の状況（R5年1-3月実績）（業種・資本金・地域別） （%）

区分		R4年10-12月 設備投資した	R5年1-3月 設備投資した	設備投資の目的（複数回答）						
				設備更新	生産・販売能力拡大	合理化省力化	環境保全	経営多角化	研究開発	その他
総計		34	32	77	26	25	10	4	4	5
	札幌市を除く	32	29	79	24	24	12	4	3	6
	札幌市	40	39	71	33	27	6	4	4	2
業種	建設業	28	32	79	17	21	3	3	3	3
	製造業	45	41	69	36	40	19	7	10	0
	卸売・小売業	32	29	82	21	14	11	7	0	4
	運輸業	40	36	78	16	13	3	0	0	3
	サービス業	28	25	79	36	28	10	3	3	13
資本金	5千万円未満	28	26	70	34	25	6	8	2	5
	5千万円以上～1億円未満	33	30	83	28	10	7	0	0	7
	1億円以上	58	58	88	10	33	19	0	8	2
地域	道南	23	17	73	18	9	27	0	0	0
	道央	35	33	78	30	28	10	4	5	6
	札幌市を除く	31	27	87	26	29	16	3	6	13
	札幌市	40	39	71	33	27	6	4	4	2
	道北	40	34	79	28	21	7	3	0	3
	オホーツク	23	41	67	33	33	0	0	0	6
	十勝	38	37	83	28	28	17	11	11	6
	釧路・根室	36	26	79	0	14	7	7	0	0

表4-(1) 設備投資の状況（R5年4-6月見通し）（業種・資本金・地域別） （%）

区分		R5年4-6月 設備投資する	設備投資の目的（複数回答）						
			設備更新	合理化省力化	生産・販売能力拡大	環境保全	経営多角化	研究開発	その他
総計		35	83	30	18	9	3	2	4
	札幌市を除く	32	84	26	16	10	3	1	4
	札幌市	40	80	40	22	4	4	2	4
業種	建設業	32	90	28	10	7	0	0	3
	製造業	40	78	38	15	15	5	5	3
	卸売・小売業	36	86	31	23	11	0	0	6
	運輸業	47	85	12	15	2	2	0	5
	サービス業	25	77	41	26	8	8	3	3
資本金	5千万円未満	27	77	27	22	7	4	1	5
	5千万円以上～1億円未満	32	81	16	16	6	3	0	3
	1億円以上	69	93	42	12	12	2	4	2
地域	道南	24	73	20	27	7	0	0	7
	道央	39	84	34	20	6	5	2	2
	札幌市を除く	37	88	28	19	9	7	2	0
	札幌市	40	80	40	22	4	4	2	4
	道北	33	89	25	4	4	0	0	4
	オホーツク	41	78	33	28	0	6	0	11
	十勝	38	83	33	17	28	0	6	6
	釧路・根室	22	75	8	8	25	0	0	0

5　地域別にみる各産業の動向

（1）道南

今期の業況感BSIは △11（前期から3ポイント上昇）

主な上昇業種・・・　総合工事業（△33→△20）

主な下降業種・・・　道路旅客運送業（75→67）
宿泊業（75→33）

来期の業況感BSIは △16（今期から5ポイント下降）

図5－(1)　地域別BSIの推移【道南】

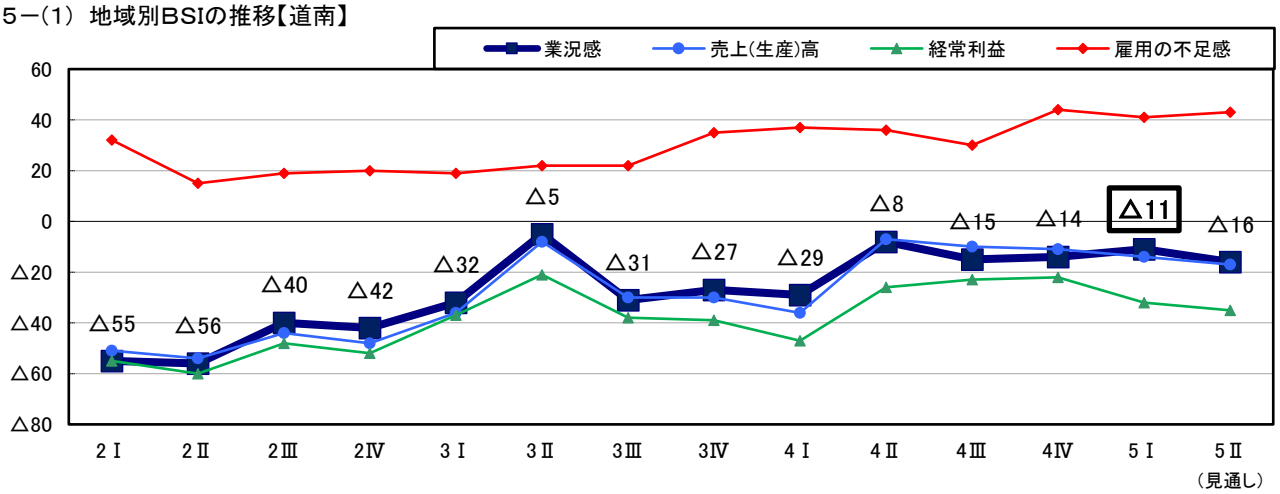


表5－(1)　地域別BSI【道南】

区分		R4年10-12月実績BSI	R5年1-3月実績					R5年4-6月見通し				
			上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 14	14	61	25	△ 11	3	9	66	25	△ 16	△ 5
	建設業	△ 33	0	80	20	△ 20	13	10	70	20	△ 10	10
	製造業	△ 50	15	70	15	0	50	0	69	31	△ 31	△ 31
	卸売・小売業	△ 11	8	54	38	△ 30	△ 19	8	54	38	△ 30	0
	運輸業	36	40	50	10	30	△ 6	30	60	10	20	△ 10
	サービス業	△ 10	11	56	33	△ 22	△ 12	6	72	22	△ 16	6
売上（生産）高	全産業	△ 11	16	54	30	△ 14	△ 3	16	51	33	△ 17	△ 3
	建設業	△ 50	10	60	30	△ 20	30	10	70	20	△ 10	10
	製造業	△ 25	8	61	31	△ 23	2	8	46	46	△ 38	△ 15
	卸売・小売業	△ 12	15	39	46	△ 31	△ 19	23	39	38	△ 15	16
	運輸業	36	40	50	10	30	△ 6	40	50	10	30	0
	サービス業	△ 5	11	61	28	△ 17	△ 12	6	55	39	△ 33	△ 16
経常利益	全産業	△ 22	9	50	41	△ 32	△ 10	6	53	41	△ 35	△ 3
	建設業	△ 50	0	70	30	△ 30	20	0	60	40	△ 40	△ 10
	製造業	△ 59	0	38	62	△ 62	△ 3	0	38	62	△ 62	0
	卸売・小売業	△ 17	8	38	54	△ 46	△ 29	8	38	54	△ 46	0
	運輸業	27	40	50	10	30	3	30	50	20	10	△ 20
	サービス業	△ 14	6	55	39	△ 33	△ 19	0	72	28	△ 28	5
雇用者の不足感	全産業	44	44	53	3	41	△ 3	48	47	5	43	2
	建設業	73	67	33	0	67	△ 6	67	33	0	67	0
	製造業	34	31	61	8	23	△ 11	31	61	8	23	0
	卸売・小売業	41	46	46	8	38	△ 3	54	38	8	46	8
	運輸業	64	70	30	0	70	6	80	20	0	80	10
	サービス業	28	24	76	0	24	△ 4	29	65	6	23	△ 1

（2）道央

今期の業況感BSIは △2（前期から3ポイント下降）

主な上昇業種・・・　総合工事業（△31→△11）、食料品製造業（△11→△9）、建築材料、鉱物・金属材料等卸売業（△25→△22）、情報サービス業（△31→8）、

主な下降業種・・・　道路貨物運送業（△23→△38）、倉庫業（18→0）、技術サービス業(△20→△22)、宿泊業（67→64）

来期の業況感BSIは △3（今期から1ポイント下降）

図5－(2)　地域別BSIの推移【道央】

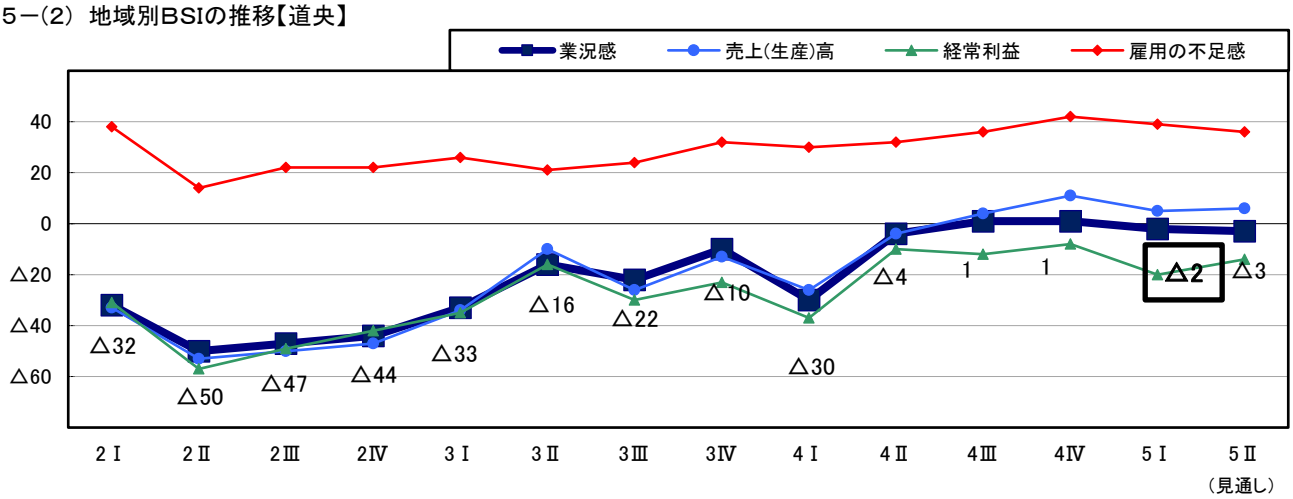


表5－(2)　地域別BSI【道央】

区分		R4年10-12月実績BSI	R5年1-3月実績 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	R5年4-6月見通し 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	1	18	62	20	△ 2	△ 3	16	65	19	△ 3	△ 1
	建設業	△ 24	3	88	9	△ 6	18	6	76	18	△ 12	△ 6
	製造業	△ 7	17	52	31	△ 14	△ 7	12	62	26	△ 14	0
	卸売・小売業	8	18	62	20	△ 2	△ 10	20	60	20	0	2
	運輸業	0	13	56	31	△ 18	△ 18	13	71	16	△ 3	15
	サービス業	10	26	60	14	12	2	20	65	15	5	△ 7
売上（生産）高	全産業	11	26	53	21	5	△ 6	23	60	17	6	1
	建設業	△ 12	15	67	18	△ 3	9	9	73	18	△ 9	△ 6
	製造業	5	26	45	29	△ 3	△ 8	24	52	24	0	3
	卸売・小売業	25	36	50	14	22	△ 3	24	60	16	8	△ 14
	運輸業	9	13	59	28	△ 15	△ 24	13	68	19	△ 6	9
	サービス業	13	29	50	21	8	△ 5	31	55	14	17	9
経常利益	全産業	△ 8	16	48	36	△ 20	△ 12	14	58	28	△ 14	6
	建設業	△ 24	6	55	39	△ 33	△ 9	9	61	30	△ 21	12
	製造業	△ 17	17	40	43	△ 26	△ 9	12	50	38	△ 26	0
	卸売・小売業	0	16	58	26	△ 10	△ 10	10	62	28	△ 18	△ 8
	運輸業	△ 7	9	57	34	△ 25	△ 18	6	71	23	△ 17	8
	サービス業	△ 3	22	40	38	△ 16	△ 13	22	54	24	△ 2	14
雇用者の不足感	全産業	42	42	55	3	39	△ 3	40	56	4	36	△ 3
	建設業	52	52	48	0	52	0	55	45	0	55	3
	製造業	33	38	57	5	33	0	36	59	5	31	△ 2
	卸売・小売業	31	32	62	6	26	△ 5	32	58	10	22	△ 4
	運輸業	49	35	65	0	35	△ 14	42	55	3	39	4
	サービス業	46	49	49	2	47	1	42	57	1	41	△ 6

（2）－ ①　道央（札幌市を除く）

今期の業況感BSIは △ 11（前期から9ポイント下降）

主な上昇業種・・・　総合工事業（△30→△9）、
建築材料、鉱物・金属材料等卸売業（△40→△33）

主な下降業種・・・　食料品製造業（△20→△60）、金属製品製造業（25→0）、
飲食料品小売業（100→40）、道路貨物運送業（△13→△29）、
倉庫業（0→△17）、宿泊業（70→50）

来期の業況感BSIは △8（今期から3ポイント上昇）

図5－(2)－①　地域別BSIの推移【道央（札幌市を除く）】

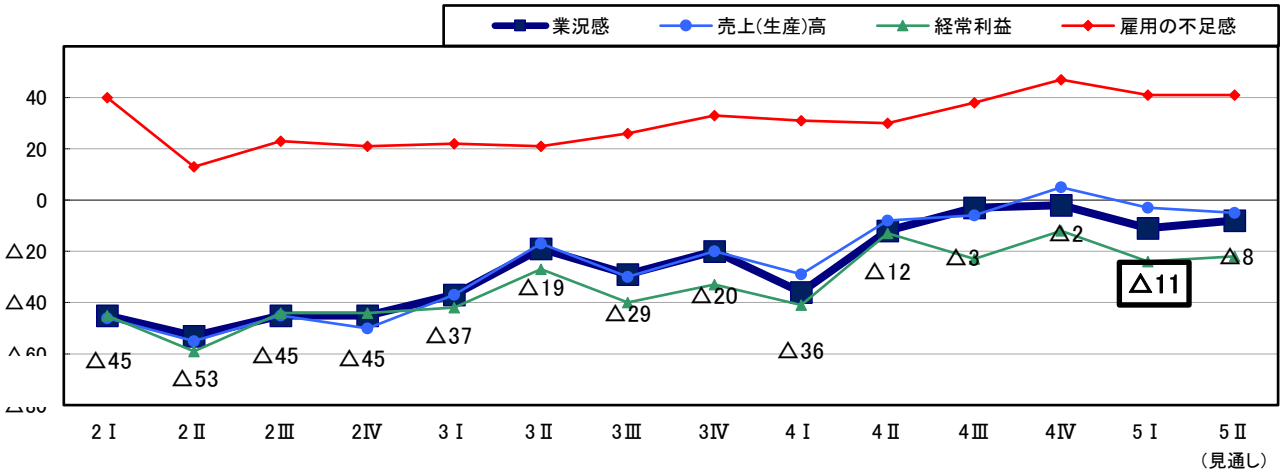


表5－(2)－①　地域別BSI【道央（札幌市を除く）】

区分		R4年10-12月実績BSI	R5年1-3月実績					R5年4-6月見通し				
			上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 2	13	63	24	△ 11	△ 9	16	60	24	△ 8	3
	建設業	△ 31	7	86	7	0	31	14	65	21	△ 7	△ 7
	製造業	△ 8	4	56	40	△ 36	△ 28	4	56	40	△ 36	0
	卸売・小売業	0	16	60	24	△ 8	△ 8	36	32	32	4	12
	運輸業	△ 5	6	65	29	△ 23	△ 18	6	82	12	△ 6	17
	サービス業	12	23	60	17	6	△ 6	17	69	14	3	△ 3
売上（生産）高	全産業	5	21	55	24	△ 3	△ 8	17	61	22	△ 5	△ 2
	建設業	△ 30	14	65	21	△ 7	23	14	65	21	△ 7	0
	製造業	△ 4	20	44	36	△ 16	△ 12	16	44	40	△ 24	△ 8
	卸売・小売業	19	36	48	16	20	1	28	52	20	8	△ 12
	運輸業	0	6	70	24	△ 18	△ 18	0	82	18	△ 18	0
	サービス業	14	20	57	23	△ 3	△ 17	20	66	14	6	9
経常利益	全産業	△ 12	13	50	37	△ 24	△ 12	10	58	32	△ 22	2
	建設業	△ 31	7	64	29	△ 22	9	14	50	36	△ 22	0
	製造業	△ 28	8	44	48	△ 40	△ 12	4	48	48	△ 44	△ 4
	卸売・小売業	△ 5	20	52	28	△ 8	△ 3	16	60	24	△ 8	0
	運輸業	△ 11	0	65	35	△ 35	△ 24	0	75	25	△ 25	10
	サービス業	0	20	40	40	△ 20	△ 20	14	57	29	△ 15	5
雇用者の不足感	全産業	47	43	55	2	41	△ 6	44	53	3	41	0
	建設業	62	43	57	0	43	△ 19	50	50	0	50	7
	製造業	24	40	52	8	32	8	40	52	8	32	0
	卸売・小売業	38	36	64	0	36	△ 2	40	56	4	36	0
	運輸業	44	24	76	0	24	△ 20	35	59	6	29	5
	サービス業	61	62	38	0	62	1	53	47	0	53	△ 9

（2）－ ② 道央（札幌市）

今期の業況感BSIは 6（前期から3ポイント上昇）

主な上昇業種・・・　総合工事業（△31→△13）、食料品製造業（0→33）、情報サービス業（△27→9）

主な下降業種・・・　道路貨物運送業（△40→△50）、倉庫業（40→20）、技術サービス業（△14→△29）

来期の業況感BSIは 2（今期から4ポイント下降）

図5－(2)－② 地域別BSIの推移【道央（札幌市）】

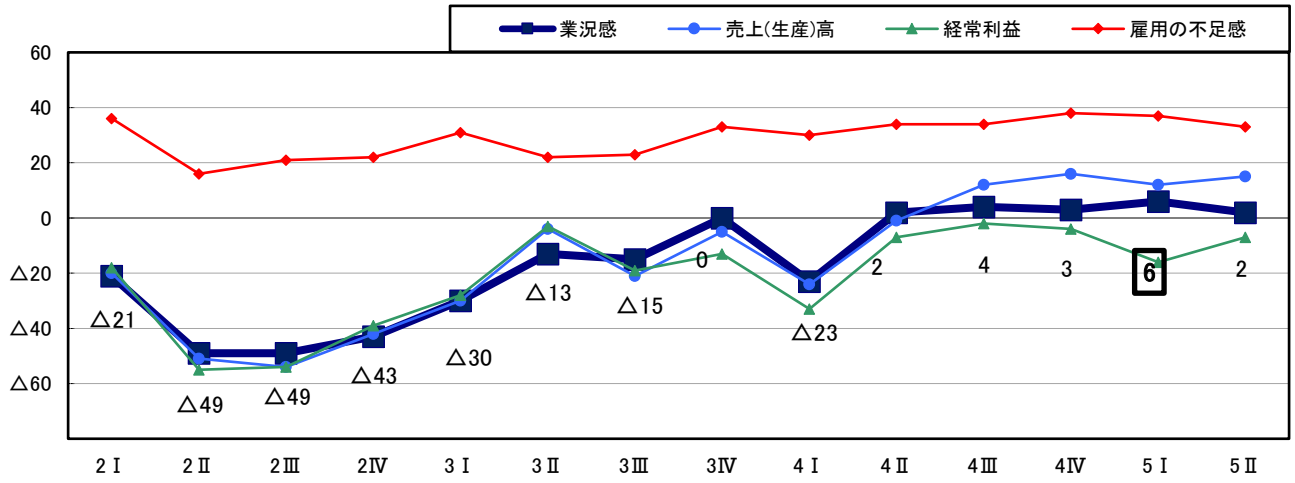


表5－(2)－② 地域別BSI【道央（札幌市）】

区分		R4年10-12月実績BSI	R5年1-3月実績					R5年4-6月見通し				
			上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	3	22	62	16	6	3	15	72	13	2	△ 4
	建設業	△ 20	0	89	11	△ 11	9	0	84	16	△ 16	△ 5
	製造業	△ 7	35	47	18	17	24	24	70	6	18	1
	卸売・小売業	13	20	64	16	4	△ 9	4	88	8	△ 4	△ 8
	運輸業	7	20	47	33	△ 13	△ 20	20	60	20	0	13
	サービス業	8	28	60	12	16	8	22	62	16	6	△ 10
売上（生産）高	全産業	16	31	50	19	12	△ 4	28	59	13	15	3
	建設業	0	16	68	16	0	0	5	79	16	△ 11	△ 11
	製造業	20	35	47	18	17	△ 3	35	65	0	35	18
	卸売・小売業	30	36	52	12	24	△ 6	20	68	12	8	△ 16
	運輸業	23	20	47	33	△ 13	△ 36	27	53	20	7	20
	サービス業	11	36	44	20	16	5	38	48	14	24	8
経常利益	全産業	△ 4	19	46	35	△ 16	△ 12	17	59	24	△ 7	9
	建設業	△ 20	5	48	47	△ 42	△ 22	5	69	26	△ 21	21
	製造業	0	29	36	35	△ 6	△ 6	24	52	24	0	6
	卸売・小売業	4	12	64	24	△ 12	△ 16	4	64	32	△ 28	△ 16
	運輸業	0	20	47	33	△ 13	△ 13	13	67	20	△ 7	6
	サービス業	△ 4	24	40	36	△ 12	△ 8	28	52	20	8	20
雇用者の不足感	全産業	38	41	55	4	37	△ 1	37	59	4	33	△ 4
	建設業	45	58	42	0	58	13	58	42	0	58	0
	製造業	47	35	65	0	35	△ 12	29	71	0	29	△ 6
	卸売・小売業	26	28	60	12	16	△ 10	24	60	16	8	△ 8
	運輸業	54	50	50	0	50	△ 4	50	50	0	50	0
	サービス業	33	40	56	4	36	3	34	64	2	32	△ 4

（3）道北

今期の業況感BSIは △ 11（前期から3ポイント上昇）

主な上昇業種・・・　食料品製造業（0→17）、道路貨物運送業（△38→0）、宿泊業（25→33）、技術サービス業（△50→0）

主な下降業種・・・　道路旅客運送業（67→40）

来期の業況感BSIは△3（今期から8ポイント上昇）

図5－(3)　地域別BSIの推移【道北】

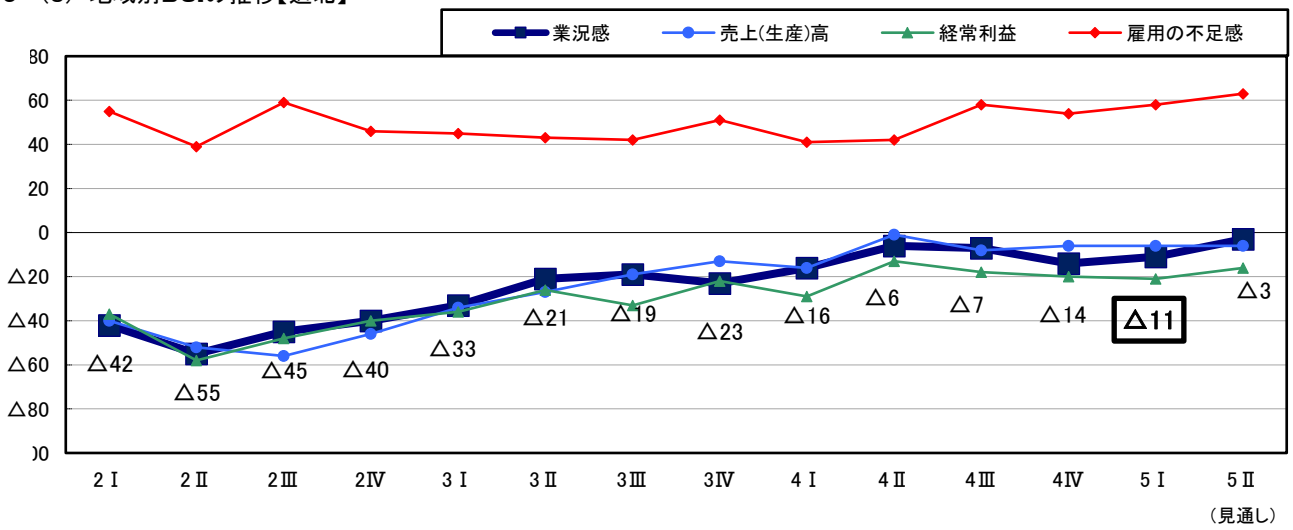


表5－(2)－②　地域別BSI【道北】

区分		R4年10-12月実績BSI	R5年1-3月実績					R5年4-6月見通し				
			上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 14	14	61	25	△ 11	3	11	75	14	△ 3	8
	建設業	△ 25	7	53	40	△ 33	△ 8	0	87	13	△ 13	20
	製造業	△ 10	11	67	22	△ 11	△ 1	11	78	11	0	11
	卸売・小売業	△ 27	17	41	42	△ 25	2	8	59	33	△ 25	0
	運輸業	6	14	86	0	14	8	0	100	0	0	△ 14
	サービス業	△ 16	19	58	23	△ 4	12	23	62	15	8	12
売上（生産）高	全産業	△ 6	18	58	24	△ 6	0	14	66	20	△ 6	0
	建設業	△ 12	7	60	33	△ 26	△ 14	0	60	40	△ 40	△ 14
	製造業	0	17	61	22	△ 5	△ 5	11	72	17	△ 6	△ 1
	卸売・小売業	△ 37	17	41	42	△ 25	12	17	66	17	0	25
	運輸業	31	29	71	0	29	△ 2	7	93	0	7	△ 22
	サービス業	△ 16	19	58	23	△ 4	12	26	52	22	4	8
経常利益	全産業	△ 20	13	53	34	△ 21	△ 1	12	60	28	△ 16	5
	建設業	△ 44	7	33	60	△ 53	△ 9	7	46	47	△ 40	13
	製造業	△ 15	6	66	28	△ 22	△ 7	6	72	22	△ 16	6
	卸売・小売業	△ 27	8	59	33	△ 25	2	8	67	25	△ 17	8
	運輸業	6	14	57	29	△ 15	△ 21	7	64	29	△ 22	△ 7
	サービス業	△ 20	23	50	27	△ 4	16	22	56	22	0	4
雇用者の不足感	全産業	54	59	40	1	58	4	64	35	1	63	5
	建設業	75	67	26	7	60	△ 15	80	20	0	80	20
	製造業	55	67	33	0	67	12	61	39	0	61	△ 6
	卸売・小売業	27	33	67	0	33	6	42	58	0	42	9
	運輸業	63	71	29	0	71	8	71	29	0	71	0
	サービス業	44	54	46	0	54	10	62	34	4	58	4

（4）オホーツク

今期の業況感BSIは △14（前期から8ポイント下降）

主な上昇業種・・・　宿泊業（△33→100）

主な下降業種・・・　総合工事業（△10→△27）、食料品製造業（33→△33）、
道路貨物運送業（20→0）、道路旅客運送業（0→△20）

来期の業況感BSIは△20（今期から6ポイント下降）

図5－(4)　地域別BSIの推移【オホーツク】

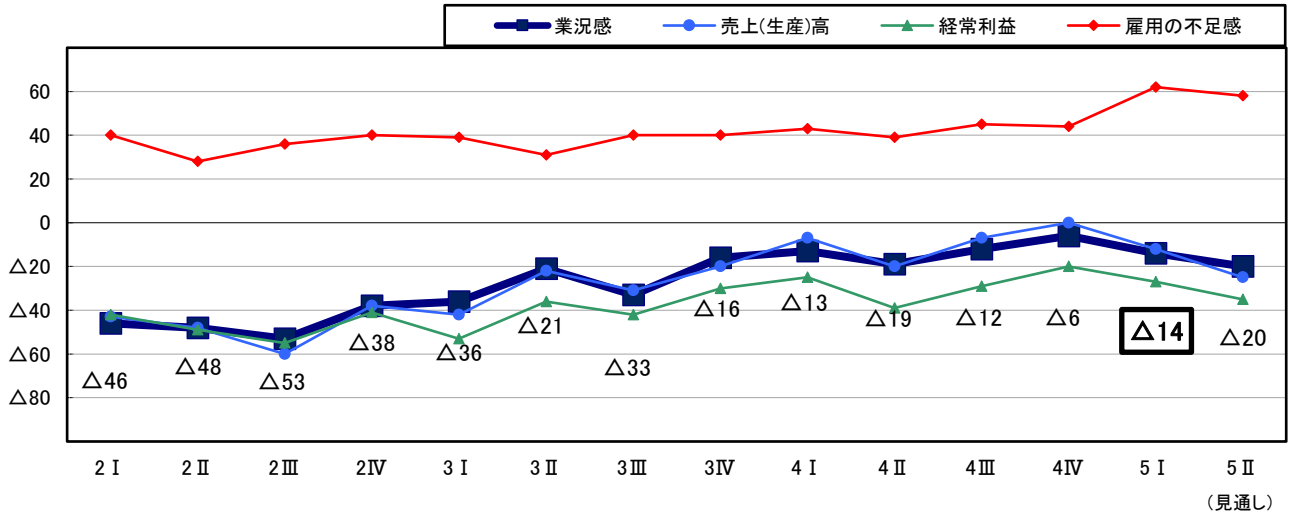


表5－(4)　地域別BSI（オホーツク）

区分		R4年10-12月実績BSI	R5年1-3月実績					R5年4-6月見通し				
			上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 6	11	64	25	△ 14	△ 8	5	70	25	△ 20	△ 6
	建設業	△ 18	0	73	27	△ 27	△ 9	0	91	9	△ 9	18
	製造業	22	0	62	38	△ 38	△ 60	0	62	38	△ 38	0
	卸売・小売業	△ 23	17	50	33	△ 16	7	17	33	50	△ 33	△ 17
	運輸業	10	9	73	18	△ 9	△ 19	0	73	27	△ 27	△ 18
	サービス業	△ 20	38	49	13	25	45	13	74	13	0	△ 25
売上（生産）高	全産業	0	18	52	30	△ 12	△ 12	5	65	30	△ 25	△ 13
	建設業	△ 36	0	36	64	△ 64	△ 28	0	64	36	△ 36	28
	製造業	11	13	62	25	△ 12	△ 23	0	50	50	△ 50	△ 38
	卸売・小売業	45	33	50	17	16	△ 29	17	33	50	△ 33	△ 49
	運輸業	10	18	64	18	0	△ 10	0	82	18	△ 18	△ 18
	サービス業	△ 20	38	49	13	25	45	14	86	0	14	△ 11
経常利益	全産業	△ 20	14	45	41	△ 27	△ 7	5	55	40	△ 35	△ 8
	建設業	△ 64	0	36	64	△ 64	0	0	55	45	△ 45	19
	製造業	12	13	49	38	△ 25	△ 37	0	62	38	△ 38	△ 13
	卸売・小売業	0	17	33	50	△ 33	△ 33	17	16	67	△ 50	△ 17
	運輸業	△ 10	9	64	27	△ 18	△ 8	0	64	36	△ 36	△ 18
	サービス業	△ 30	38	37	25	13	43	14	72	14	0	△ 13
雇用者の不足感	全産業	44	64	34	2	62	18	60	38	2	58	△ 4
	建設業	55	73	27	0	73	18	55	45	0	55	△ 18
	製造業	63	75	25	0	75	12	75	25	0	75	0
	卸売・小売業	22	50	33	17	33	11	50	33	17	33	0
	運輸業	50	73	27	0	73	23	73	27	0	73	0
	サービス業	30	38	62	0	38	8	43	57	0	43	5

（5）十勝

今期の業況感BSIは △22（前期から3ポイント上昇）

主な上昇業種・・・　総合工事業（△38→△30）、食料品製造業（50→100）、
飲食料品卸売業（△100→△33）、道路貨物運送業（△25→△14）

主な下降業種・・・　生産用機械器具製造業（△50→△100）

来期の業況感BSIは△23（今期から1ポイント下降）

図5－(5)　地域別BSIの推移【十勝】

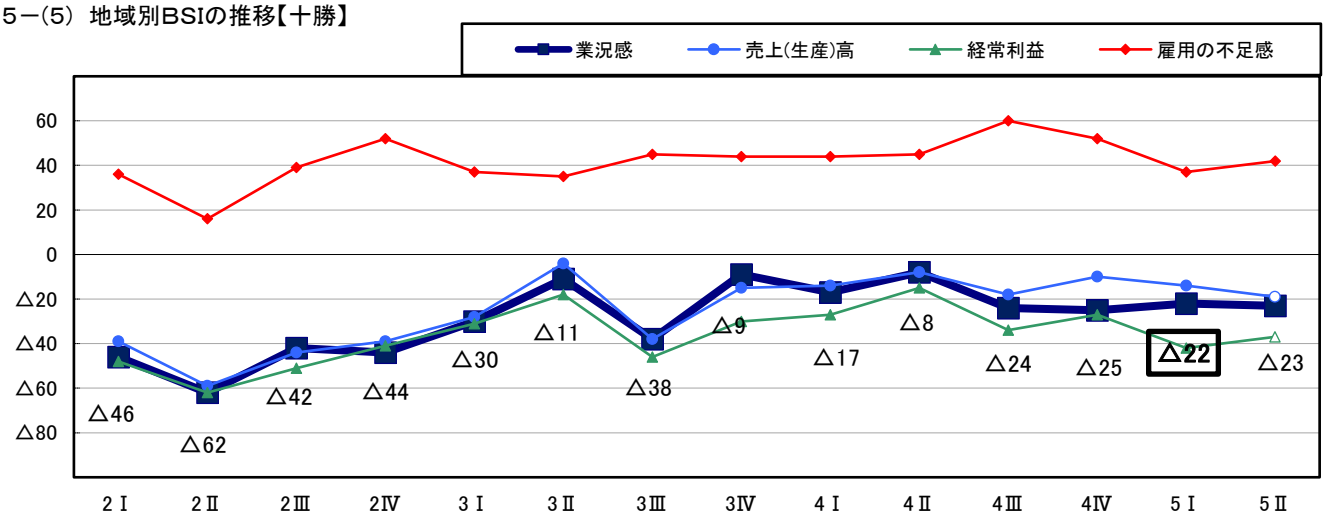


表5－(5)　地域別BSI（十勝）

区分		R4年10-12月実績BSI	R5年1-3月実績					R5年4-6月見通し				
			上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 25	14	50	36	△ 22	3	12	53	35	△ 23	△ 1
	建設業	△ 40	0	64	36	△ 36	4	9	55	36	△ 27	9
	製造業	0	27	9	64	△ 37	△ 37	20	10	70	△ 50	△ 13
	卸売・小売業	△ 30	25	50	25	0	30	13	62	25	△ 12	△ 12
	運輸業	△ 23	9	64	27	△ 18	5	9	73	18	△ 9	9
	サービス業	△ 29	11	67	22	△ 11	18	11	67	22	△ 11	0
売上（生産）高	全産業	△ 10	22	42	36	△ 14	△ 4	16	49	35	△ 19	△ 5
	建設業	△ 50	9	46	45	△ 36	14	18	37	45	△ 27	9
	製造業	33	36	9	55	△ 19	△ 52	30	20	50	△ 20	△ 1
	卸売・小売業	0	25	50	25	0	0	13	62	25	△ 12	△ 12
	運輸業	8	27	46	27	0	△ 8	9	64	27	△ 18	△ 18
	サービス業	△ 36	11	67	22	△ 11	25	11	67	22	△ 11	0
経常利益	全産業	△ 27	12	34	54	△ 42	△ 15	12	39	49	△ 37	5
	建設業	△ 60	0	18	82	△ 82	△ 22	18	18	64	△ 46	36
	製造業	△ 11	18	18	64	△ 46	△ 35	10	30	60	△ 50	△ 4
	卸売・小売業	△ 10	13	37	50	△ 37	△ 27	13	37	50	△ 37	0
	運輸業	△ 23	18	46	36	△ 18	5	9	55	36	△ 27	△ 9
	サービス業	△ 29	11	56	33	△ 22	7	11	56	33	△ 22	0
雇用者の不足感	全産業	52	43	51	6	37	△ 15	48	46	6	42	5
	建設業	60	36	46	18	18	△ 42	45	37	18	27	9
	製造業	22	27	73	0	27	5	20	80	0	20	△ 7
	卸売・小売業	50	43	57	0	43	△ 7	57	43	0	57	14
	運輸業	85	73	27	0	73	△ 12	82	18	0	82	9
	サービス業	36	33	56	11	22	△ 14	33	56	11	22	0

（6）釧路・根室

今期の業況感BSIは △17（前期から3ポイント下降）

主な上昇業種・・・　総合工事業（△20→△11）

主な下降業種・・・　機械器具小売業（△50→△67）

来期の業況感BSIは△26（今期から9ポイント下降）

図5－(6) 地域別BSIの推移【釧路・根室】

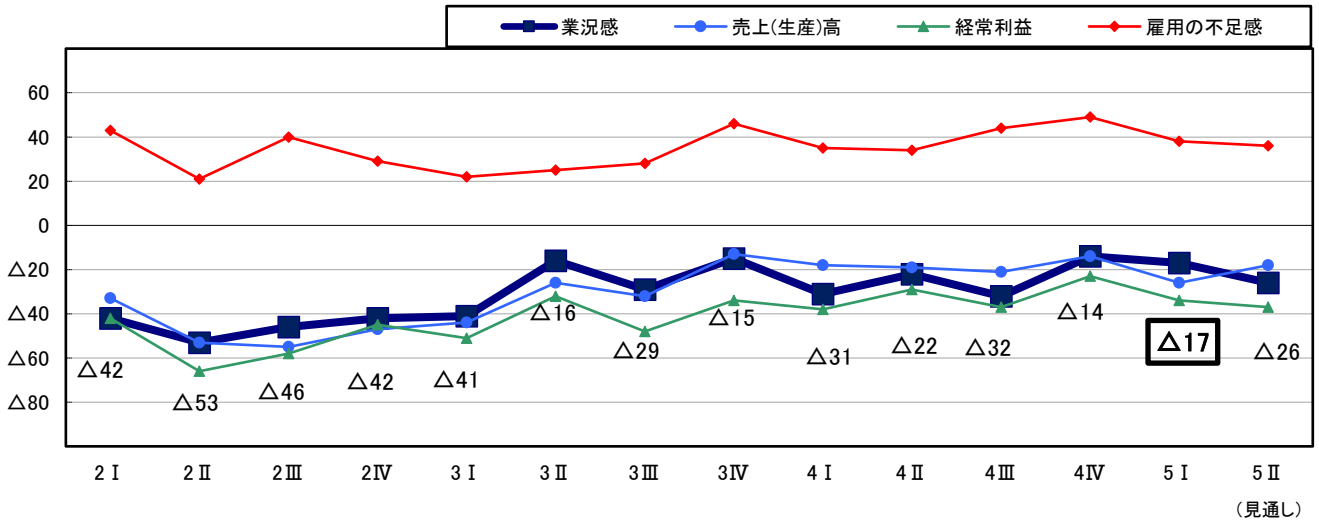


表5－(6) 地域別BSI（釧路・根室）

区分		R4年10-12月実績BSI	R5年1-3月実績					R5年4-6月見通し				
			上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 14	8	67	25	△ 17	△ 3	4	66	30	△ 26	△ 9
	建設業	△ 18	0	90	10	△ 10	8	0	70	30	△ 30	△ 20
	製造業	△ 30	9	46	45	△ 36	△ 6	0	55	45	△ 45	△ 9
	卸売・小売業	△ 18	10	60	30	△ 20	△ 2	10	50	40	△ 30	△ 10
	運輸業	0	9	82	9	0	0	0	91	9	△ 9	△ 9
	サービス業	0	9	64	27	△ 18	△ 18	9	64	27	△ 18	0
売上（生産）高	全産業	△ 14	7	60	33	△ 26	△ 12	6	70	24	△ 18	8
	建設業	△ 36	10	50	40	△ 30	6	0	80	20	△ 20	10
	製造業	△ 8	0	55	45	△ 45	△ 37	9	64	27	△ 18	27
	卸売・小売業	△ 9	10	50	40	△ 30	△ 21	10	60	30	△ 20	10
	運輸業	△ 20	9	82	9	0	20	0	91	9	△ 9	△ 9
	サービス業	0	8	59	33	△ 25	△ 25	8	59	33	△ 25	0
経常利益	全産業	△ 23	7	52	41	△ 34	△ 11	4	55	41	△ 37	△ 3
	建設業	△ 36	10	40	50	△ 40	△ 4	0	60	40	△ 40	0
	製造業	△ 31	9	36	55	△ 46	△ 15	9	27	64	△ 55	△ 9
	卸売・小売業	△ 27	0	60	40	△ 40	△ 13	0	60	40	△ 40	0
	運輸業	△ 10	9	73	18	△ 9	1	0	82	18	△ 18	△ 9
	サービス業	△ 10	8	50	42	△ 34	△ 24	8	50	42	△ 34	0
雇用者の不足感	全産業	49	40	58	2	38	△ 11	38	60	2	36	△ 2
	建設業	55	50	50	0	50	△ 5	60	40	0	60	10
	製造業	54	55	45	0	55	1	45	55	0	45	△ 10
	卸売・小売業	46	40	60	0	40	△ 6	30	70	0	30	△ 10
	運輸業	50	36	64	0	36	△ 14	45	55	0	45	9
	サービス業	40	18	73	9	9	△ 31	9	82	9	0	△ 9

6 道内の景況感

今期の道内の景況感BSIは △18（前期から3ポイント下降）

- 業種別でみると、建設業、サービス業はマイナス幅が縮小、製造業、卸売・小売業、運輸業はマイナス幅が拡大。
- 地域別でみると、道北はマイナス幅が縮小、釧路・根室は横ばい、道南、道央、オホーツク、十勝はマイナス幅が拡大。

来期の道内の景況感BSIは △8（今期から10ポイント上昇）

図6 道内の景況感

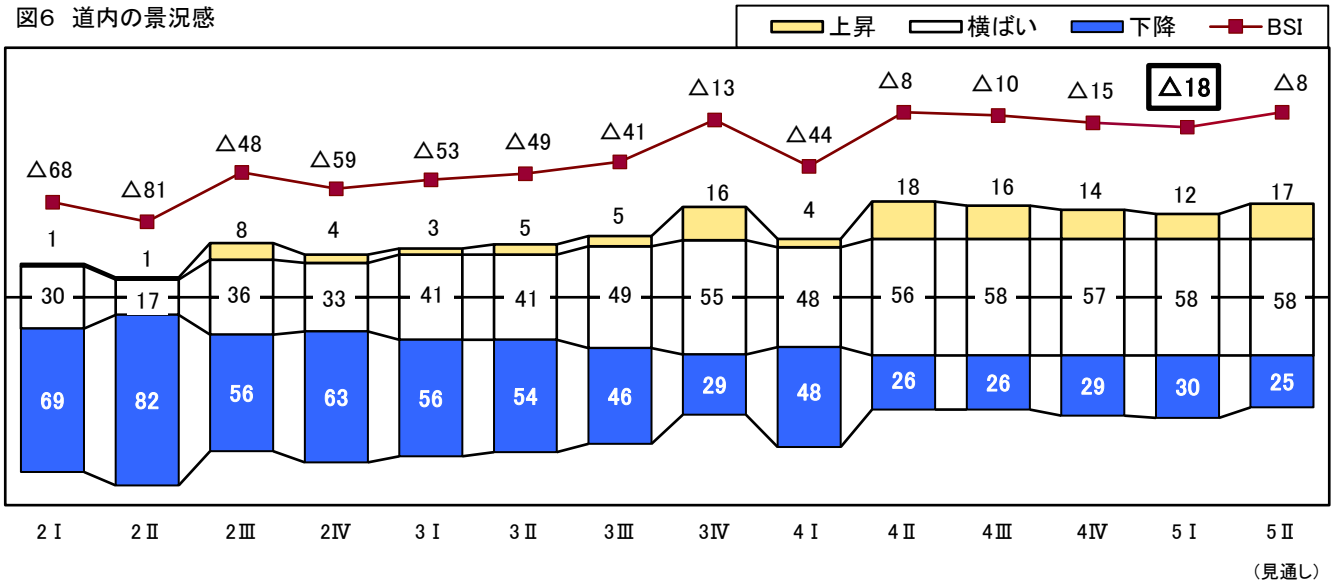


表6 道内の景況感（業種・資本金・地域別）

区分		R4年10-12月実績	R5年1-3月実績					R5年4-6月見通し				
			上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
総計		△ 15	12	58	30	△ 18	△ 3	17	58	25	△ 8	10
	札幌市を除く	△ 20	10	56	34	△ 24	△ 4	15	56	29	△ 14	10
	札幌市	0	20	64	16	4	4	24	63	13	11	7
業種	建設業	△ 34	3	66	31	△ 28	6	9	62	29	△ 20	8
	製造業	△ 16	12	51	37	△ 25	△ 9	14	50	36	△ 22	3
	卸売・小売業	△ 15	11	53	36	△ 25	△ 10	17	56	27	△ 10	15
	運輸業	△ 1	13	61	26	△ 13	△ 12	17	64	19	△ 2	11
	サービス業	△ 14	18	60	22	△ 4	10	24	58	18	6	10
資本金	5千万円未満	△ 24	9	55	36	△ 27	△ 3	15	56	29	△ 14	13
	5千万円以上～1億円未満	△ 5	14	69	17	△ 3	2	17	65	18	△ 1	2
	1億円以上	5	23	63	14	9	4	24	62	14	10	1
地域	道南	△ 22	13	49	38	△ 25	△ 3	11	55	34	△ 23	2
	道央	△ 7	15	61	24	△ 9	△ 2	21	60	19	2	11
	札幌市を除く	△ 15	10	58	32	△ 22	△ 7	17	58	25	△ 8	14
	札幌市	0	20	64	16	4	4	24	63	13	11	7
	道北	△ 23	16	54	30	△ 14	9	16	58	26	△ 10	4
	オホーツク	△ 17	7	59	34	△ 27	△ 10	18	52	30	△ 12	15
	十勝	△ 30	2	52	46	△ 44	△ 14	10	56	34	△ 24	20
	釧路・根室	△ 21	7	65	28	△ 21	0	15	55	30	△ 15	6

7　業種・地域別企業経営者の声（令和5年1－3月）

【建設業】

道南	・ 好調で、2年連続借入無しの取引先もある。工事がこなしきれないので、夏の大雨で発生した災害復旧工事は翌年の発注にしてもらうなどの話もあった。（経済団体） ・ 住宅の建築単価が大幅に上昇しており、建築は良くないが、土木は好調。（金融機関） ・ 災害復旧工事他、公共工事の発注が順調。ただ、原油・原材料高騰の影響、資材が入らないという話も聞いている。（金融機関）
道央	・ 住宅建設では、建築資材や水回り設備品の仕入れ不安定により、工事の遅れが発生。（一般土木建築工事業） ・ 建築費上昇により住宅新築を見送る消費者もいる。（一般土木建築工事業）
道北	・ 建築資材の高騰や人件費の上昇に伴い、住宅建築単価の値上げを余儀なくされ、ユーザーの住宅新築マインドの低下などによる売上減少が予想される。（一般土木建築工事業） ・ 原材料高騰の影響を受け、工事に使用する部材の納期が遅れるなどの影響を受けている。そのため、スケジュールが後ろ倒しになり、予定していた工事ができなくなることも多々あった。（一般土木建築工事業） ・ 社員がコロナに罹ることで、工事内容によっては、建築工事や設備工事との兼ね合いがあるため、スケジュールに影響が生じることがあった。（電気工事業） ・ 工事受注量の減少に加え、資材・燃料、下請施工費の高騰等により利益が圧迫された。（総合工事業） ・ 建築単価の上昇や中古住宅へのシフトのほか、他社との競合による受注確保が厳しさを増しており、冬期間の売り上げが大幅に落ち込み、業況は非常に厳しい。（一般土木建築工事業） ・ 将来を見据え、即戦力（資格保有者）と若い人材の確保を積極的に進めている。（設備工事業） ・ 慢性的に人手不足。特に技術職が足りず、若手社員が辞めていく。若手社員の育成にはコストを割いているつもり（資格代の負担など）だが、途中で辞めてしまう。また、地元の高校生を毎年、各業界で取り合っているような状態のため、高卒の新規就職はなかなか見込めない。（電気工事業 ）
オホーツク	・ 大工が不足しており、人材不足は長らく言われてきているが全く改善されない。新規採用をするにも週休2日制のところでつまずいてしまう。業界全体で取り組まなければならないと思う。（大工工事業）
十勝	・ 募集をしても人が集まらず、採用してもすぐに辞めてしまい定着しない状況。特に、事業所が帯広市内から離れるほどその傾向が高い印象。（経済団体） ・ 外国人労働者を雇いながら何とか事業を継続している状況。（経済団体）

【製造業】

道南	・ ボイラーに使用する灯油、電気代の高騰が負担。クラフトビールは元々価格が高いので値上げできないが、レストランメニューは値上げする予定。（食料品製造業） ・ 人手不足のため、1 人で複数パートをこなさざるをえない。（食料品製造業） ・ 未だ止まらない包装資材の単価上昇や、今後見込まれる最低賃金の上昇を考え、商品の値上げを検討しているが、なかなか踏み切れない。（水産食料品製造業）
道央	・ 運送費や原材料費が2割弱値上げされ、利益を圧迫している。紙代の値上げも打診され、先が読めない。（印刷業） ・ 原材料費の高騰分をある程度 価格に転嫁できているが、100%を転嫁できている状態ではない。（畜産食料品製造） ・ 原材料や包装資材、光熱費等の値上げが止まらず来期には価格の見直しも考えなければならない。（菓子製造業） ・ 小麦など原材料価格が微増。それ以上に紙やビニールなど包装資材が 3 割ほど上がっている。価格転嫁は出来ている方だが、原材料価格高騰と いたちごっこの状態。（食料品製造業） ・ デジタル印刷などで人が不足しているが、先が読めない中、採用に踏み切れない。（印刷業）。 ・ 従業員の過不足に関しては、今後、外国人技能実習生の受け入れを考えている。（食料品製造業）
道北	・ 紙等の主力資材の値上げが続いており、すべてを売値に反映させるのが難しい状況であるほか、電気料金は約 1.5 倍となった。（印刷業） ・ 前年に比べ商品が流れているため、売上は増加しているものの、先行きは不透明で、仕入原材料も一部で再値上げの予定もあるため、今後販売価格の変更等を考える必要がある。（食料品製造業） ・ コロナ前と比べると売上は7割程度だが、巣ごもり需要でネット販売している水産物の売り上げは上々でコロナ前と比べても販売総量は大きく変わってはいない。しかし、送料を含めるとすごく儲かっているわけでもない。現地にきてもらって、現地で食べて買い物してくれるほうがよい。（水産食料品製造業）
オホーツク	・ 燃油の高騰で、特にチーズは、元々安い商品ではなく、配送料の値上がりで打撃を受けており、これ以上の価格転嫁は困難である。（食料品製造業） ・ 加工場は人手不足により、漁協等からの受注に対応しきれず苦慮している状況にある。（経済団体）
十勝	・ 円安等による原料価格高騰に加え、電気料金の値上げで価格交渉力の弱い零細事業者は非常に厳しく、ある食品製造業では、国産大豆の仕入れが 1.5 倍になったと聞いている。（経済団体）
釧路・根室	・ メジャー流通が安売りをするしか商品を販売できない状況にある中で、中小は大手の安売りに右倣えしないと消費者にも小売業者にも買ってもらえない。大手が適切な価格転嫁をしない限り、中小が価格転嫁することは不可能（食料品製造業）。

【卸売・小売業】

道南	・ 灯油の価格は下がっており、ロシア関係の影響は無く、安定供給できている。（燃料小売業）
道央	・ 売上の7割以上が土産物品で、人流の回復と国等の支援策で売上が伸びてきたが、どうみん割り等のクーポン券での購入が大半を占めていることから、支援策が継続すれば今後も売上が伸びると考えている。（飲食料品卸売業） ・ 売上は前年対比 10%増。昨季は、コロナ禍でホテルへの菓子卸し部門の売上げが相当落ちたが、現在は回復してきている。コロナ禍で卸販売が大きな打撃を受けたので、その教訓として、店頭小売・卸販売・通販と幅広くチャンネルを持つよう心がけている。（飲食料品卸売業） ・ 冬期はスキー場へ行く外国人が休憩場所として立ち寄るため、外国人の割合が高くなる。冬からGWまでは観光客は少なく、利益が下がってしまうため、飲食店の中には冬に休業する店もある。（経済団体）
道北	・ コロナの影響が改善し、収益は確保できているが、原材料・包装資材・人件費・光熱費等の高騰で、今後は収益圧迫の懸念がある。（飲食料品小売業） ・ あらゆる商品の価格が上がったため、客単価を押し上げたほか、全国的な寒波の影響で季節商品の売り上げを押し上げた。しかし、消費の低迷を実感しており、商品の回転率は落ち込んでいくものと思われる。（繊維品卸売業） ・ SNS を活用し求人募集することで、事前に事業所内の様子や雰囲気を知った上で応募いただくなど、プラスに働いた。（飲食料品小売業）
オホーツク	・ 外国人旅行者減少の影響により、道の駅に併設しているアンテナショップでは売上が1割程度減少している。ただし、個人利用客が多いことや EC サイト、ふるさと納税などの取り組みにより、大きな落ち込みにはなっていない。（飲食料品小売業） ・ 空港に併設しているアンテナショップでは、空港利用者の落ち込みにより、売上が2割以上減少している状況にある。（飲食料品小売業）
十勝	・ 電気料金の値上げは、高圧契約をしている大型店(スーパーなど)にとっても影響は大きい(数十万～数百万の費用加算)。今後、低圧契約の料金が上がった際には、BtoCの零細事業者等において特に影響が大きいと想定。（経済団体）
釧路・根室	・ 昨年から、産地の天候不順やコスト増加により原材料の仕入れ値が上がっている。タマネギについては一時期、例年の約5倍の価格となった。（飲食料品卸売業）

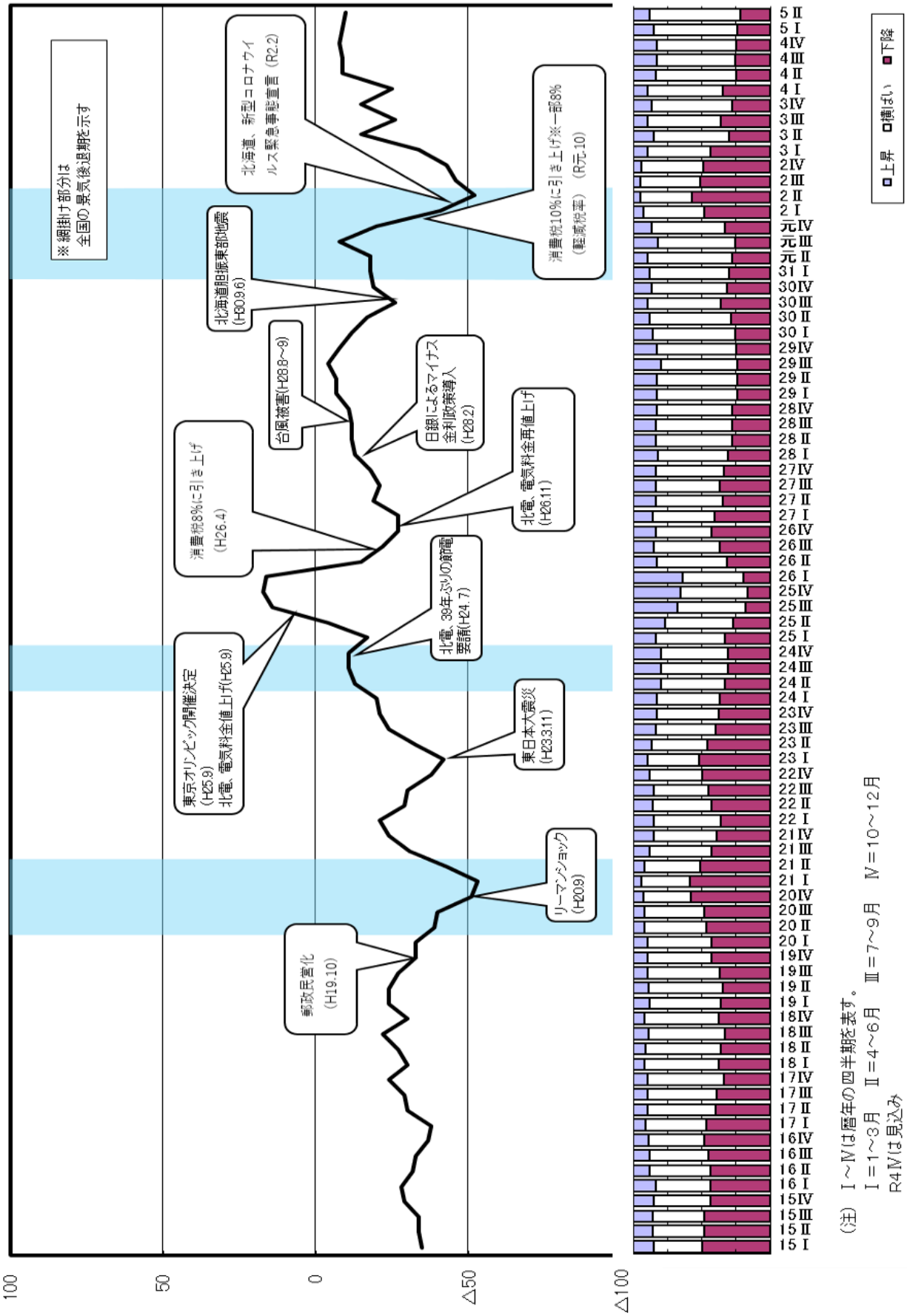
【運輸業】

道南	・ タクシー業界では人員が減ったことで 1 人あたりの売上が上がっている。（道路旅客運送業）
道央	・ 旅行支援（HOKKAIDO LOVE！割）が始まり、観光バス需要が増えている。新千歳の国際線で入ってくる観光客の増加もあり、コロナ禍前の約8割程度まで戻っている。残りの2割は中国人観光客が入ってきていない部分と見ている。（道路旅客運送業）
道北	・ 降雪期になり、利用者数が増え、増収方向になるものの、費用面も増大しており、総合的には厳しい状況が続く中で、借入分の返済等にかかる費用が事業の安定運営を脅かしている。この状況があと2年は続くことになる見込みで、先行きへの不安は大きい。（道路旅客運送業）
オホーツク	・ とにかく募集をかけても人が来ない。特に、自動車整備士の不足は深刻な状況になっている。（道路貨物運送業）

【サービス業】

道南	・ 大人数での宴会は行われないため、厳しい。（飲食店） ・ スナックは少人数のグループ客の利用が多く、コロナ前と比べて売上は3～7割程度戻ったが、酒類の値上げ、電気・燃料代の高騰で経費が増えている。（飲食店）
道央	・ 日ハムオープン戦日程公表と同時に周辺日程の予約が埋まった。道外客の予約も好調。訪日外国人もかなり戻ってきており、マスクを拒否する方はいないため、苦慮することはない。（宿泊業） ・ 旅行支援（HOKKAIDO LOVE！割）のおかげで、客室稼働は好調。今回の旅行支援はビジネス利用も可となっているので助かっている。（宿泊業） ・ 宴会は、ほとんどない状況が続いている。婚礼の予約があったが、キャンセルや人数を大幅に減らして行うなどの状況となっている。（宿泊業） ・ スキー場や宿泊客は、コロナ前の7～8割くらいまで戻っている。インバウンドは、オーストラリア、香港、シンガポール、タイなどが多い。（宿泊業） ・ 宿泊予約の状況は回復してきているが、人手が不足しており、客室の清掃やレストランの回しが間に合わず、定員まで予約を受けられない状況。人手が確保できればもっと予約数は伸びると思う。（宿泊業） ・ 客室のふすまや壁紙、サウナの内装材を取り替えるなど、清潔感に磨きをかけたり、駐車場でフリーマーケットやキッチンカー等のイベントを行い、集客に努めている。（宿泊業）
道北	・ コロナ禍で富裕層をターゲットとした宿泊施設を開業。今は下向きだと思うが、これから良くなっていくときに向けてスタートを切ったという形で、よかったと思っている。（宿泊業） ・ コロナ禍のなかでは観光客の入りが多かった反面、受け入れる体制ができていなかったように感じており、チャンスを逃してしまった場面が見られた。（宿泊業） ・ 全国旅行支援を行っていても、コロナ感染拡大の影響か週末の客数が激減しており、冬まつりなど一時的には増えるかもしれないが、引き続き厳しい状況が予想される。（宿泊業） ・ ホテルの部屋は空いているのに、ホテル側の人手が足りず宿泊させることができないなど、万全の状態で受け入れることができなかったことがある。以前ほどハイシーズンのバイトの募集に人が集まらず、人手不足が続いている。（宿泊業）
オホーツク	・ 自治体の主な団体において忘新年会は自粛ムードの状況を受け、ランチ営業にシフトするなどして何とか売上を維持している。（飲食店）
十勝	・ 3 年ぶりの営業再開で、シンガポールやオーストラリアからの予約が堅調。（宿泊業） ・ コロナ前から、客単価向上を意識したサービス及び設備の改善を意識していたことや、もともとの客層が個人客中心であるため、コロナの影響は最小限になっている。（宿泊業） ・ ランチ営業など昼の客層は戻ってきているが、居酒屋は、大口の団体客の予約が戻らない業況が続いている。また、スナックも 2 次会客が戻らず厳しい状況。（飲食業）
釧路・根室	・ 飼料価格の高騰や子牛の価格低下などで影響を受けた酪農者が地域での飲食を減らしたことで、飲食店が廃業するなど影響が出ている。今後、飼料やエネルギー価格高騰の先行きが見えない中で、こうした影響が更に深刻化する可能性があると考えている。（飲食店） ・ 地域の大型小売店で、最低賃金を大きく超える賃金で募集をかけており、地域の小規模な事業者は人手の確保に苦労している。【経済団体】

8　業況感の長期推移



（注）Ⅰ～Ⅳは暦年の四半期を表す。
Ⅰ＝1～3月　Ⅱ＝4～6月　Ⅲ＝7～9月　Ⅳ＝10～12月
R4Ⅳは見込み

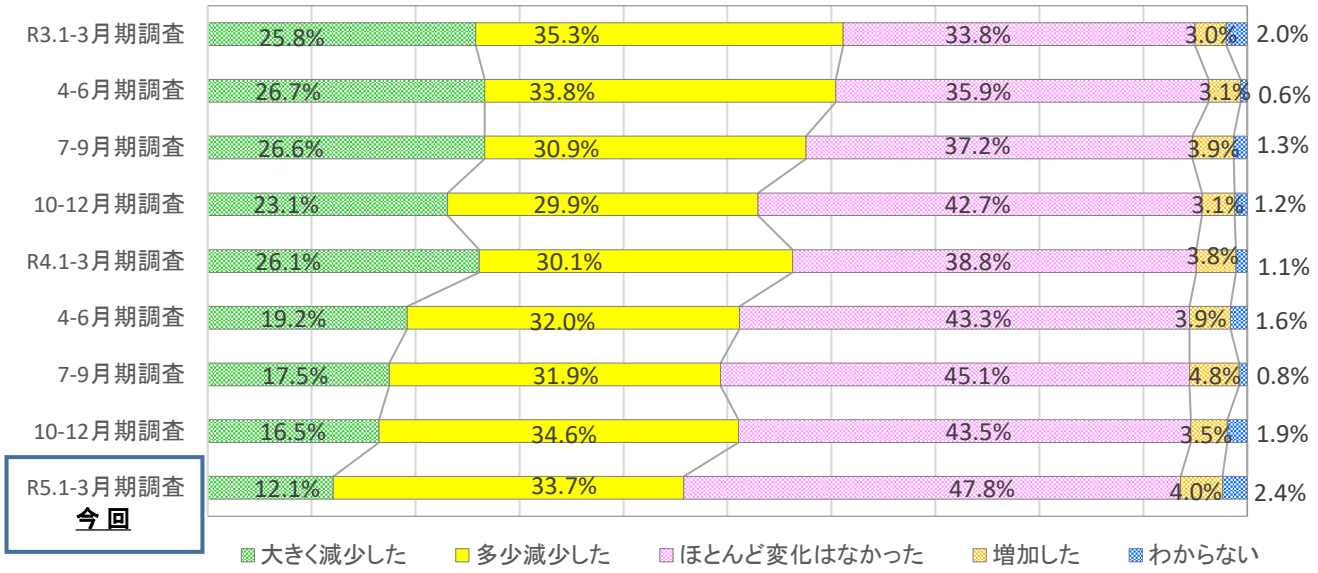
3　特別調査

1 新型コロナウイルス感染症の拡大による影響等について

（1）売上･利益等への影響の程度

平年の同時期と比較した本年1-3月における売上･利益等への影響については、全体では「大きく減少した」と回答した企業の割合が12.1%、「多少減少した」が33.7%と、合わせて45.8%の企業が「減少した」と回答しており、前回調査（R4.10-12月期）と比較し「減少した」の割合は、5.3ポイント改善した。

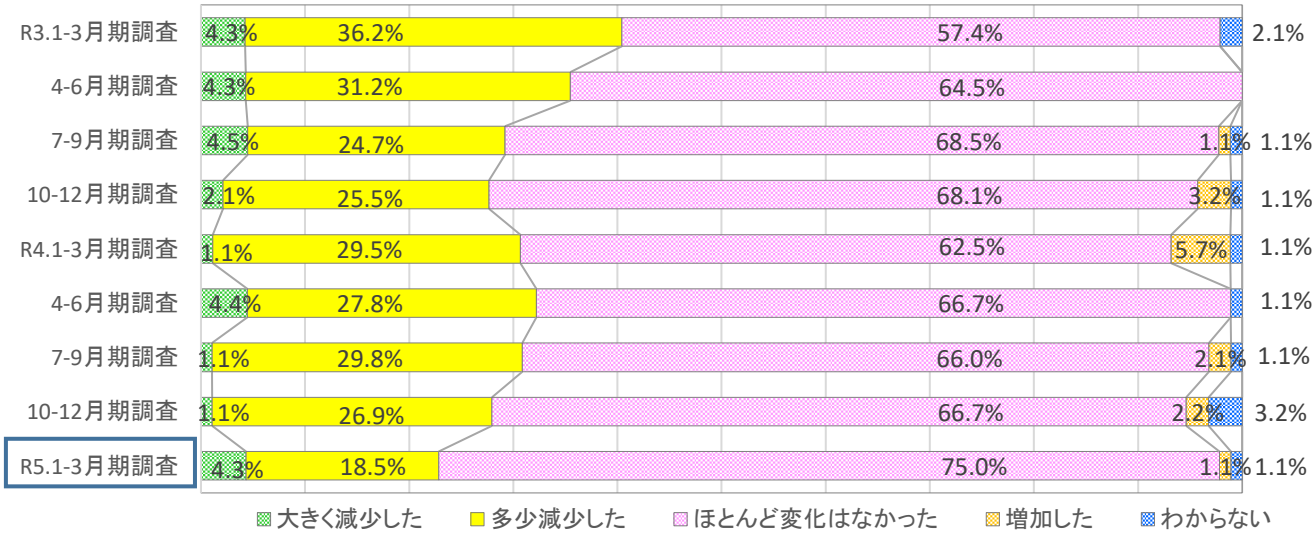
全　体　　「大きく減少した」＋「多少減少した」=45.8%（10-12月期51.1%）5.3ポイント改善



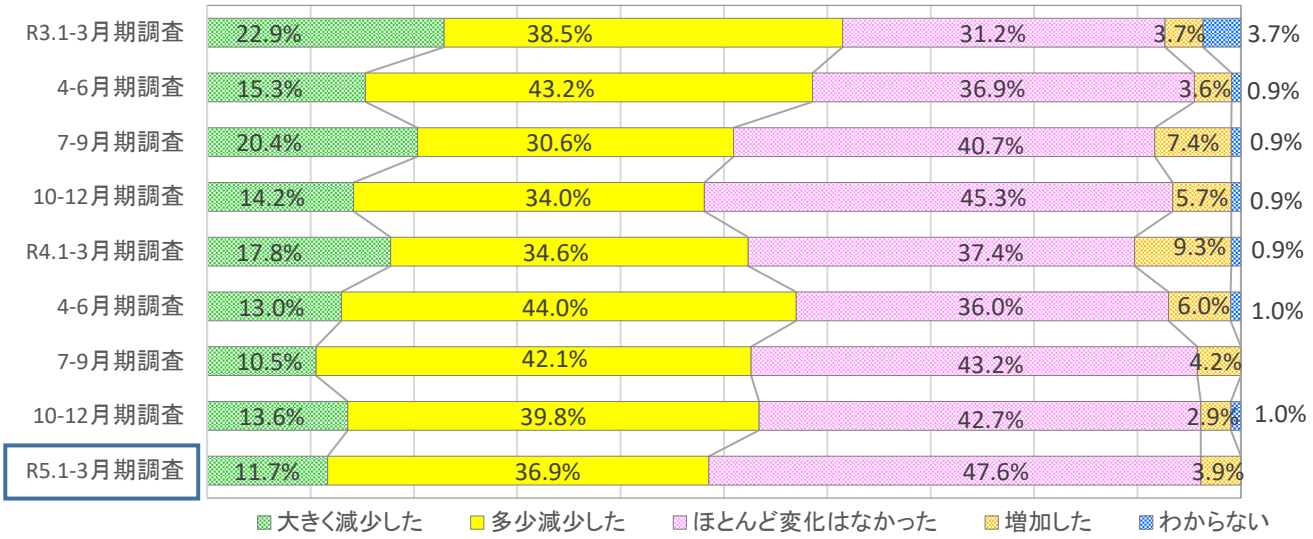
業種別では、「大きく減少した」と回答した企業の割合は、サービス業が15.3%と最も大きく、次いで運輸業が13.5%、卸売･小売業が13.1%と続き、建設業が4.3%と最も小さくなっている。

また、「多少減少した」と合わせた「減少した」の割合を前回調査と比較すると、宿泊･旅行業が悪化（4.4ポイント）、その他の業種では改善。

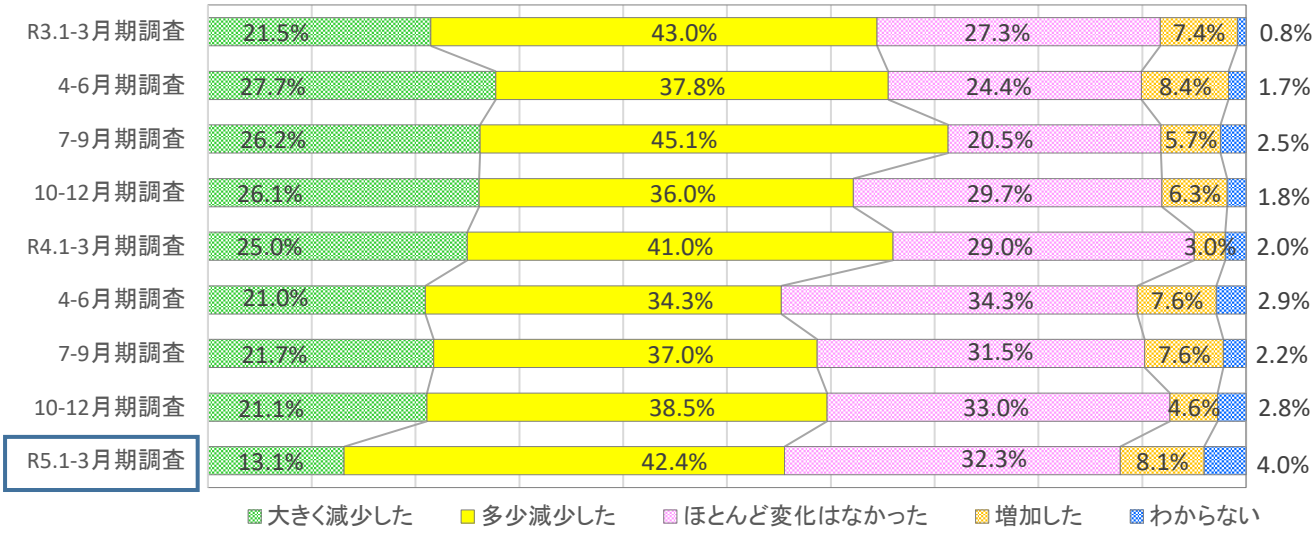
建設業　　「大きく減少した」＋「多少減少した」=22.8%（10-12月期28.0%）5.2ポイント改善



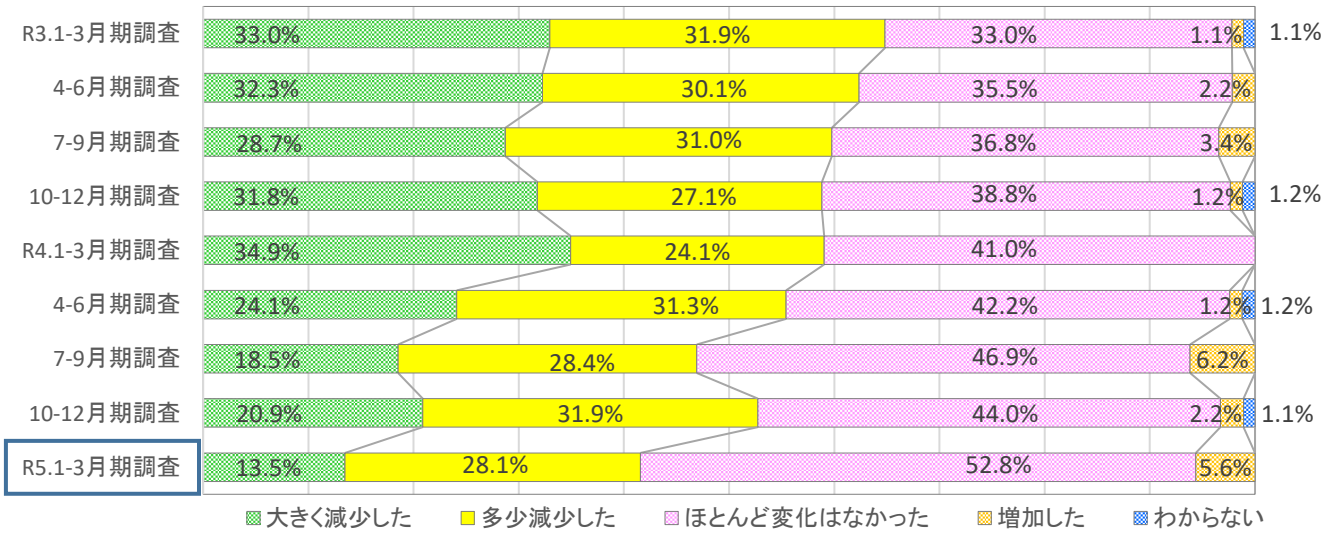
製造業　「大きく減少した」＋「多少減少した」=48.6%（10−12月期53.4%）4.8ポイント改善



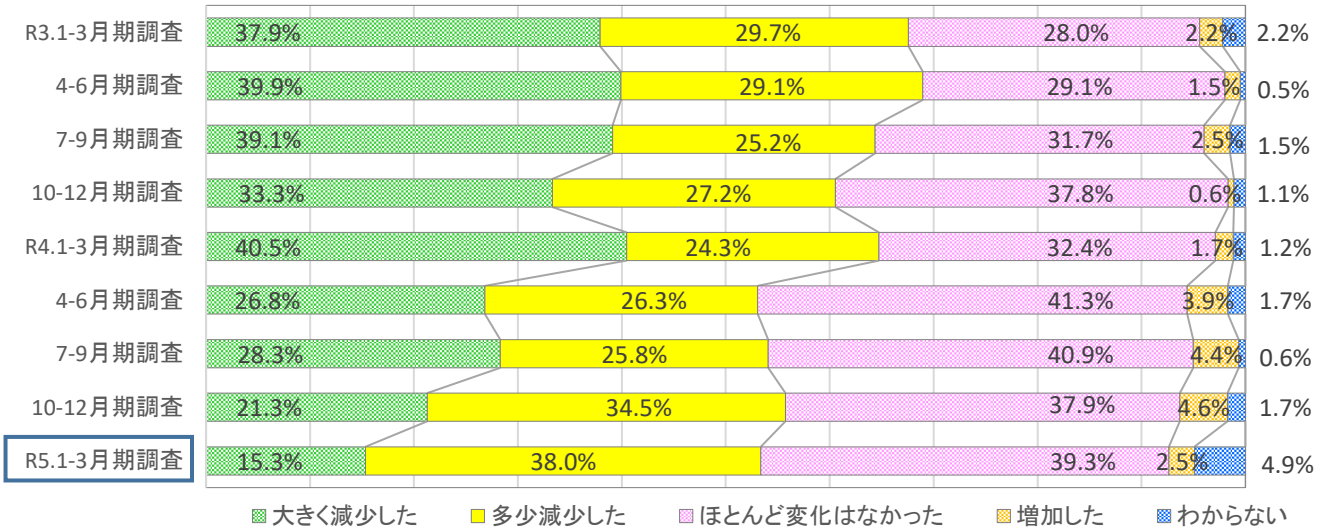
卸売・小売業　「大きく減少した」＋「多少減少した」=55.5%（10−12月期59.6%）4.1ポイント改善



運輸業　「大きく減少した」＋「多少減少した」=41.6%（10−12月期52.8%）11.2ポイント改善

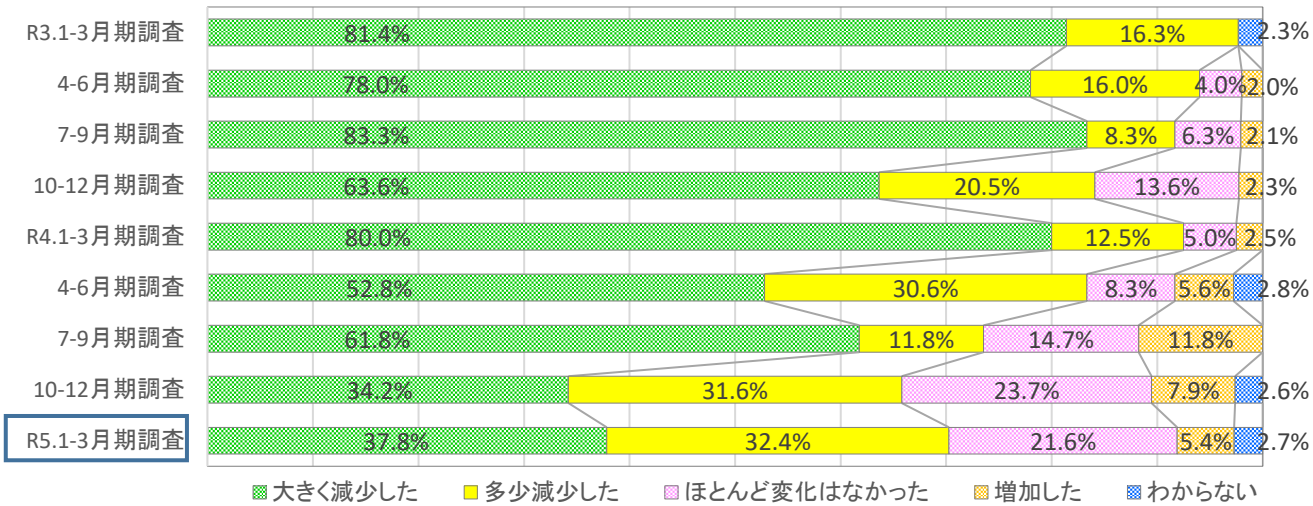


サービス業　「大きく減少した」＋「多少減少した」=53.3%（10−12月期55.8%）2.5ポイント改善

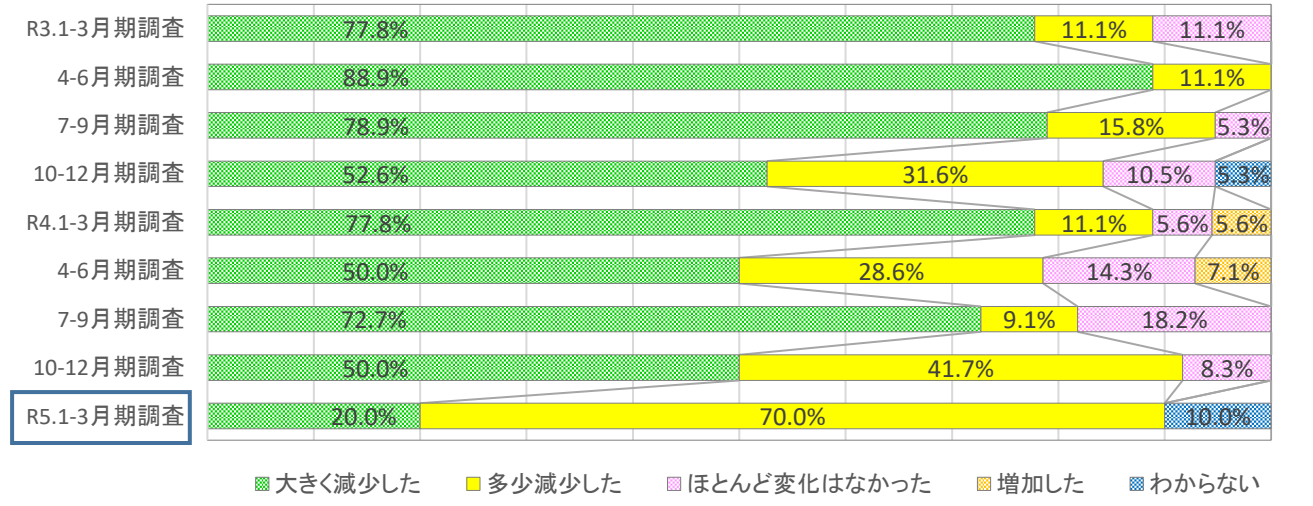


（サービス業のうち）

宿泊・旅行業　「大きく減少した」＋「多少減少した」=70.2%（10−12月期65.8%）4.4ポイント悪化



飲食業　「大きく減少した」＋「多少減少した」=90.0%（10−12月期91.7%）1.7ポイント改善

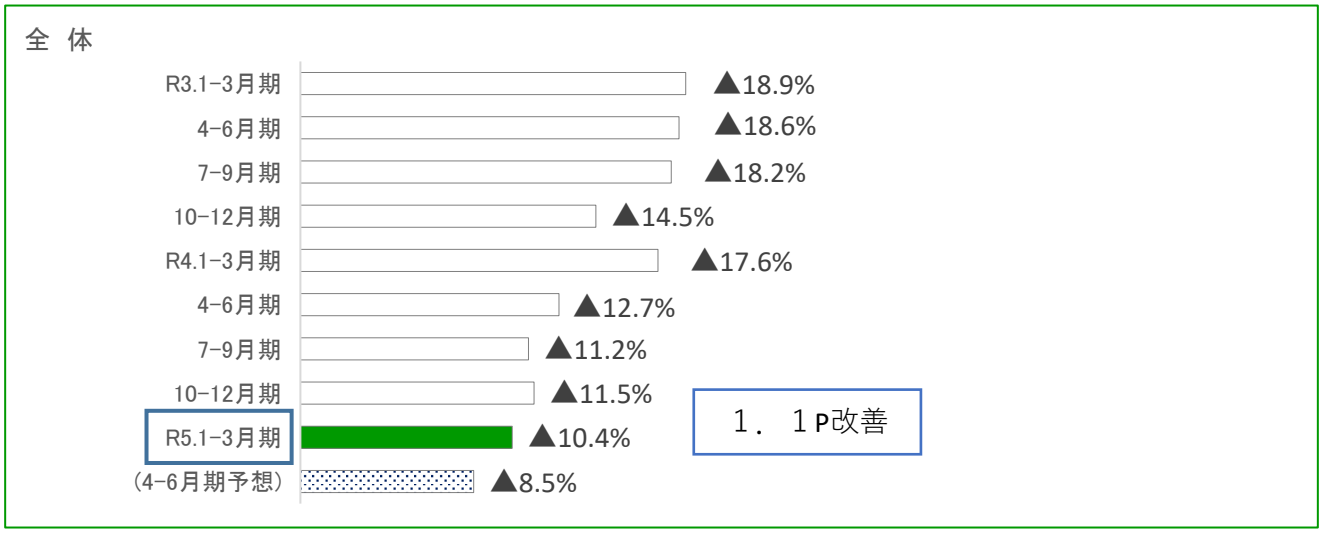


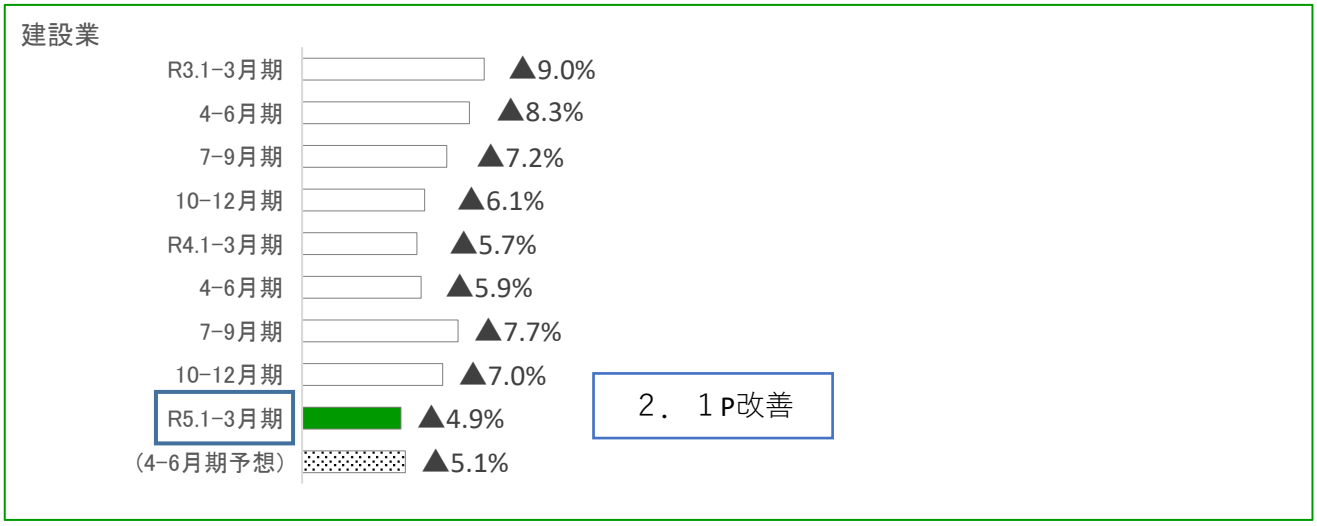
（2）売上の平年同期比減少率

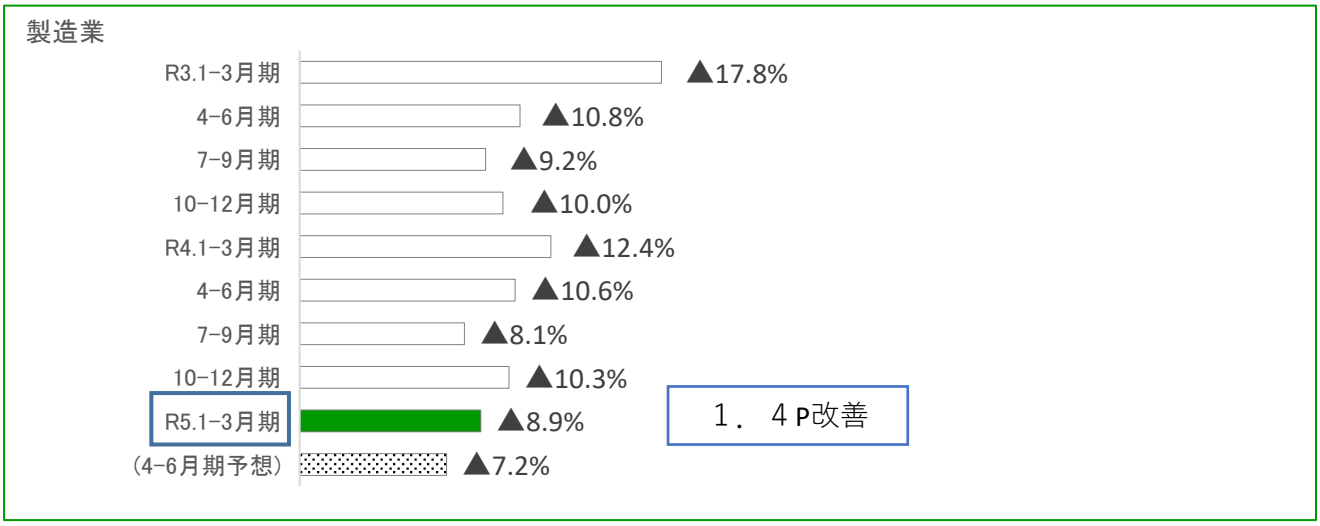
令和5年1-3月の売上について、コロナの影響を受ける以前の同時期と比較した増減率は、全体平均では ▲10.4%となり、業種別では、サービス業が▲14.1%と最も減少率が大きく、次いで卸売・小売業が▲11.5%となっている。

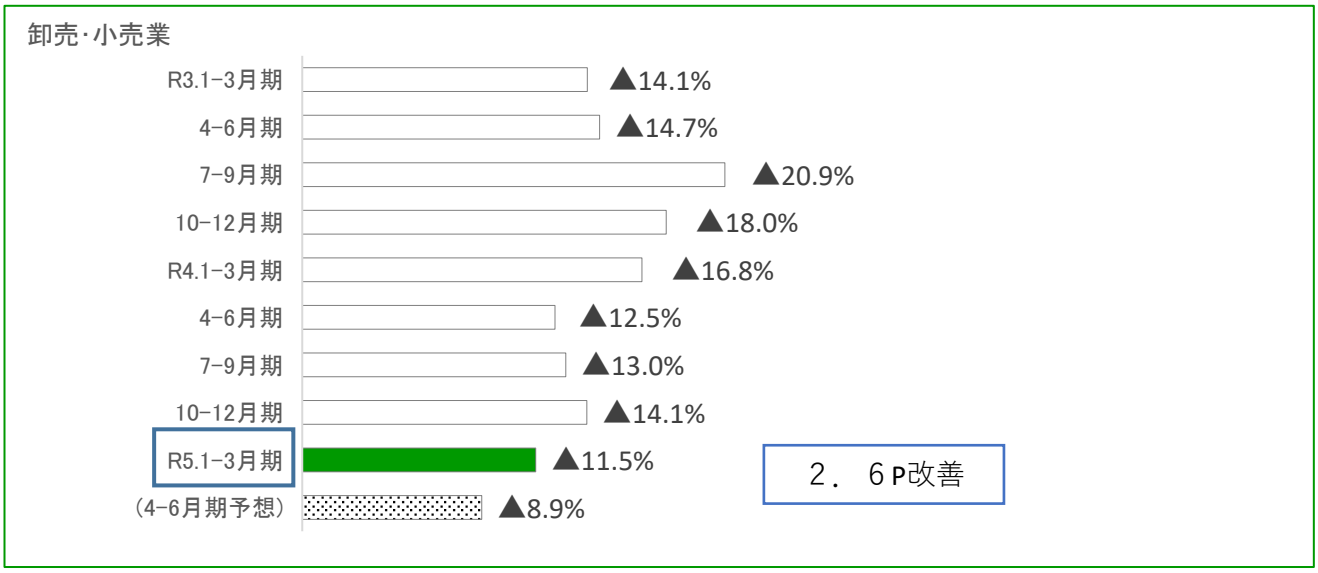
前回調査との比較では、全体では1.1ポイント改善したが、サービス業が1.6ポイント悪化。その他の業種では改善。

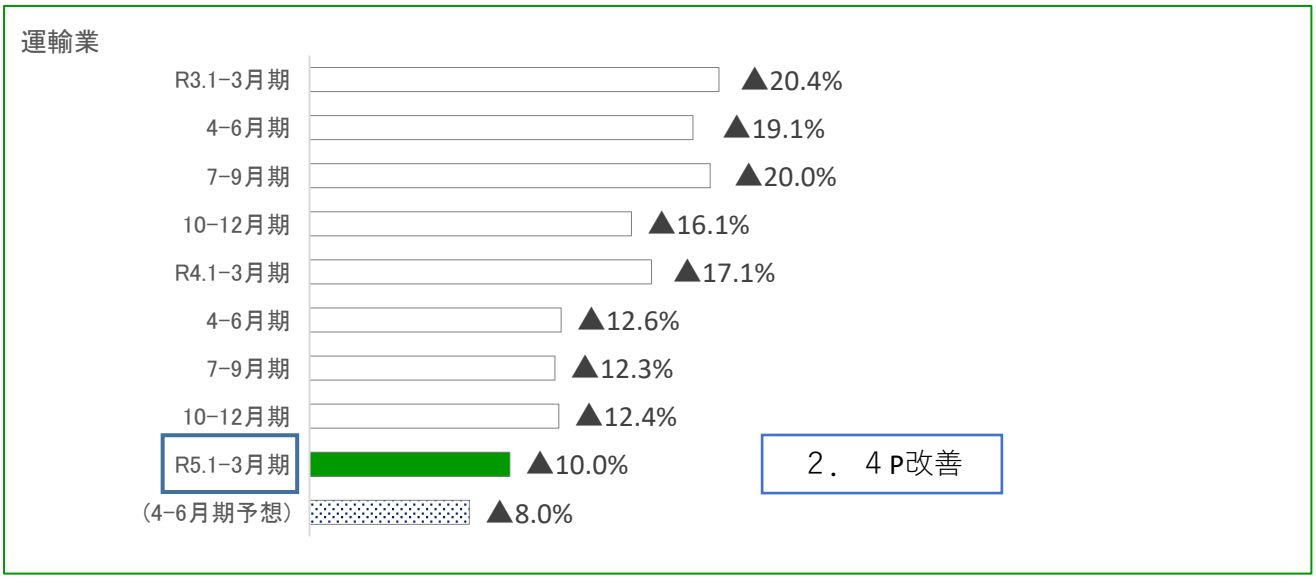
令和5年4-6月期の予想は、全体で1.9ポイント改善し、業種別では、建設業が0.2ポイント悪化、その他の業種では改善となっている。

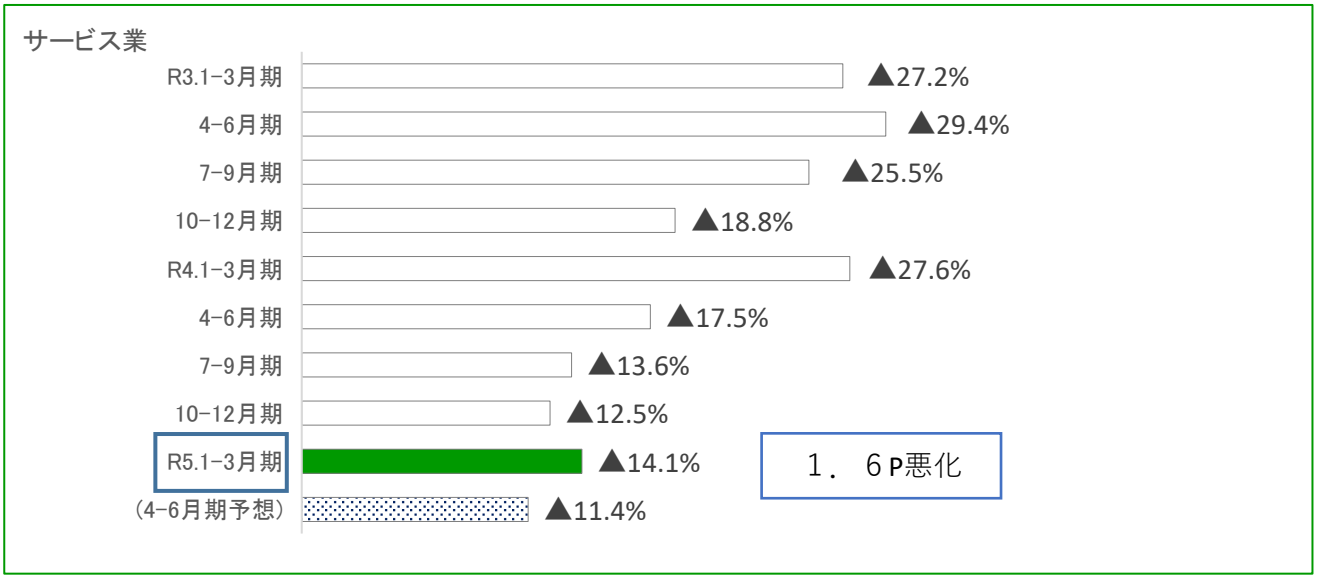







卸売･小売業
R3.1-3月期
▲14.1%
4-6月期
▲14.7%
7-9月期
▲20.9%
10-12月期
▲18.0%
R4.1-3月期
▲16.8%
4-6月期
▲12.5%
7-9月期
▲13.0%
10-12月期
▲14.1%
R5.1-3月期
▲11.5%
(4-6月期予想)
▲8.9%
2．6P改善


運輸業
R3.1-3月期
▲20.4%
4-6月期
▲19.1%
7-9月期
▲20.0%
10-12月期
▲16.1%
R4.1-3月期
▲17.1%
4-6月期
▲12.6%
7-9月期
▲12.3%
10-12月期
▲12.4%
R5.1-3月期
▲10.0%
(4-6月期予想)
▲8.0%
2．4P改善

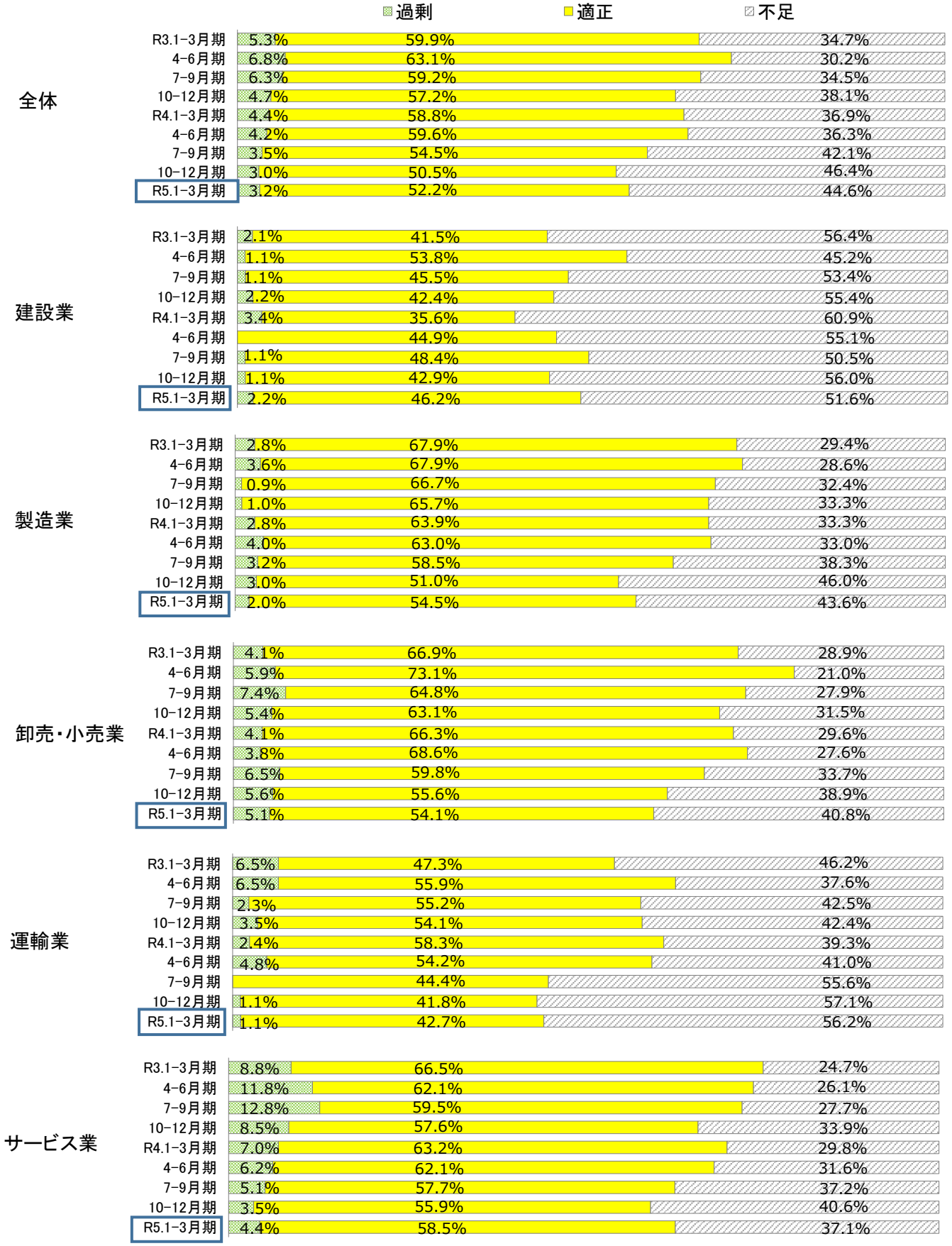

サービス業
R3.1-3月期
▲27.2%
4-6月期
▲29.4%
7-9月期
▲25.5%
10-12月期
▲18.8%
R4.1-3月期
▲27.6%
4-6月期
▲17.5%
7-9月期
▲13.6%
10-12月期
▲12.5%
R5.1-3月期
▲14.1%
(4-6月期予想)
▲11.4%
1．6P悪化

（3）正規及び非正規従業員の過不足感

①正規従業員

正規従業員の過不足感については、全体では、「過剰」と回答した企業の割合が3.2%、「適正」が52.2%、「不足」が44.6%。「不足」の割合は、運輸業で56.2%と最も大きく、次いで、建設業51.6%と続く。

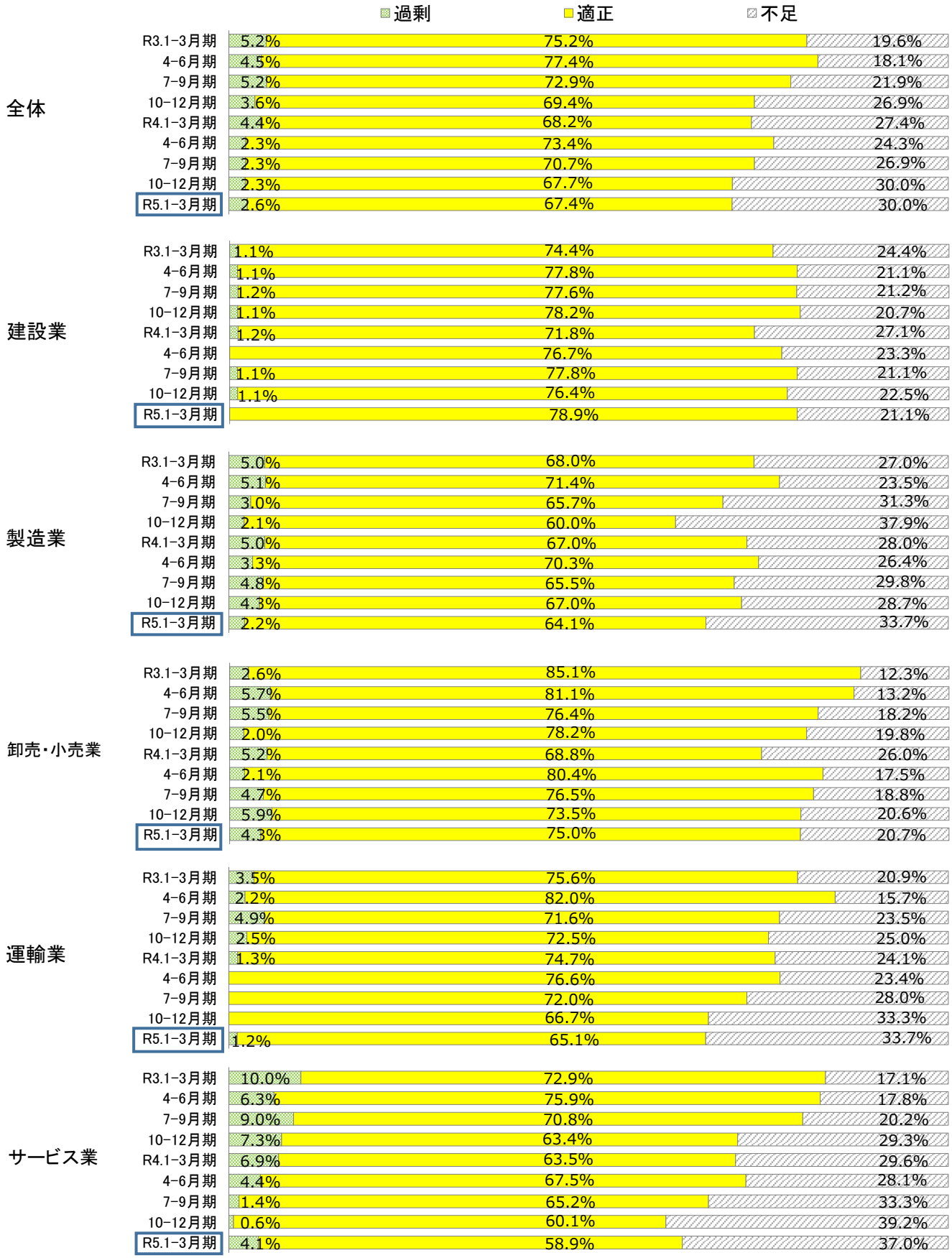
前回調査との比較では、「不足」の割合について、全体では1.8ポイント改善し、業種別では、卸売・小売業で悪化（1.9ポイント）したが、その他の業種では改善。



②非正規従業員

非正規従業員の過不足感については、全体では、「過剰」と回答した企業の割合が2.6%、「適正」が67.4%、「不足」が30.0%。「不足」の割合は、サービス業で37.0%と最も大きく、次いで、製造業と運輸業が33.7%と続く。

前回調査との比較では、「不足」の割合について、全体では横ばいだが、業種別では、製造業（5.0ポイント）、卸売・小売業（0.1ポイント）、運輸業（0.4ポイント）で悪化、その他の業種で改善。

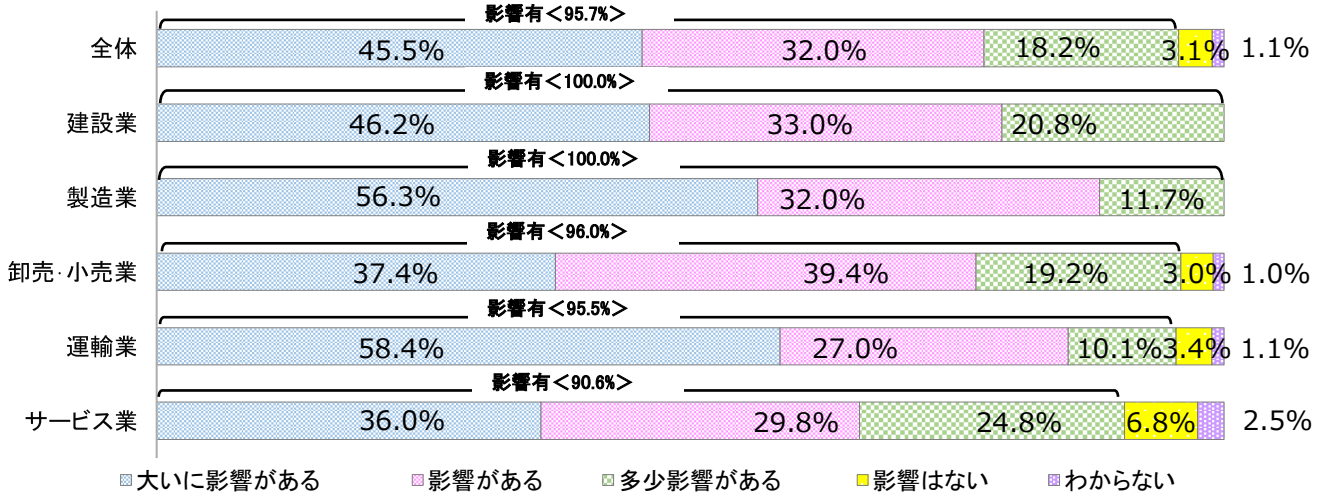


2 原油・原材料価格高騰の影響について

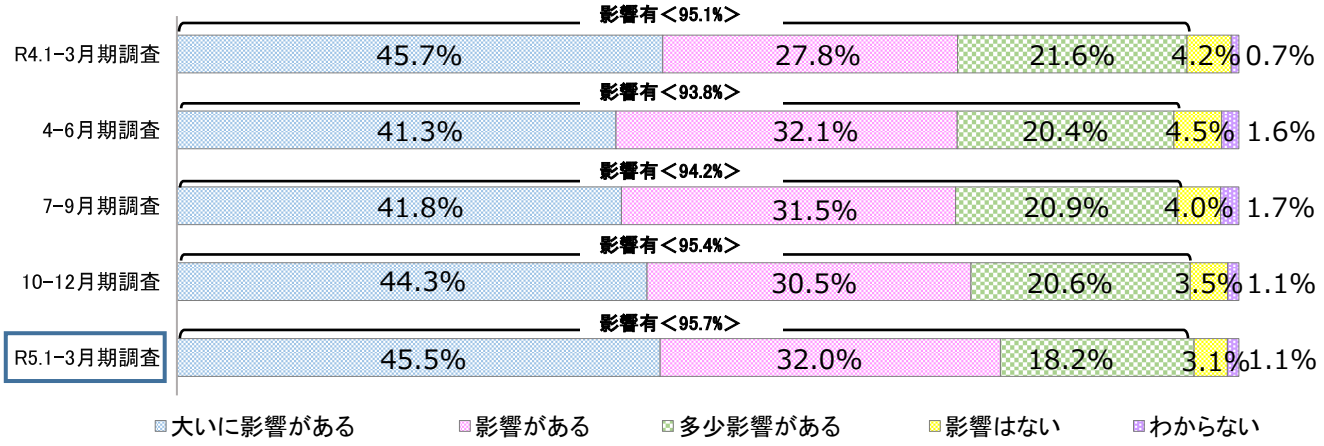
（1）経営への影響

原油・原材料価格高騰の経営への影響については、全体では「大いに影響がある」と回答した企業の割合が45.5%と最も大きく、「影響がある」の32.0%、「多少影響がある」の18.2%と合わせて、95.7%の企業が「影響がある」と回答している。

業種別でみると、「大いに影響がある」と回答した企業の割合は、運輸業（58.4%）が最も大きく、次いで製造業（56.3%）となっており、サービス業（36.0%）が最も小さくなっている。

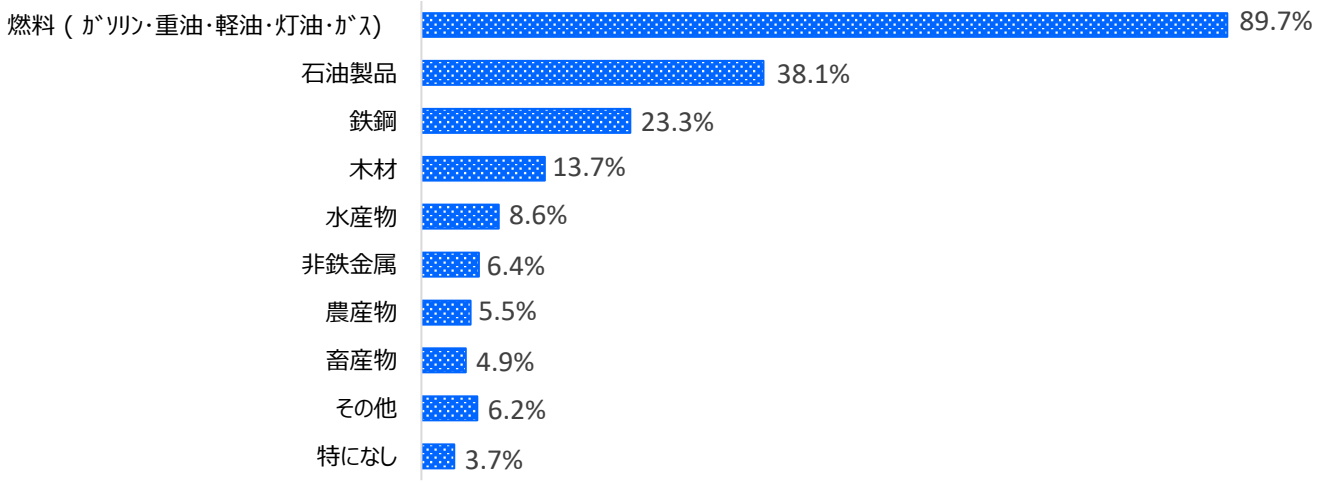


調査開始以降、「大いに影響がある」「影響がある」「多少影響がある」を合わせた「影響がある」と回答した企業の割合は、9割を超える高い水準で推移している。



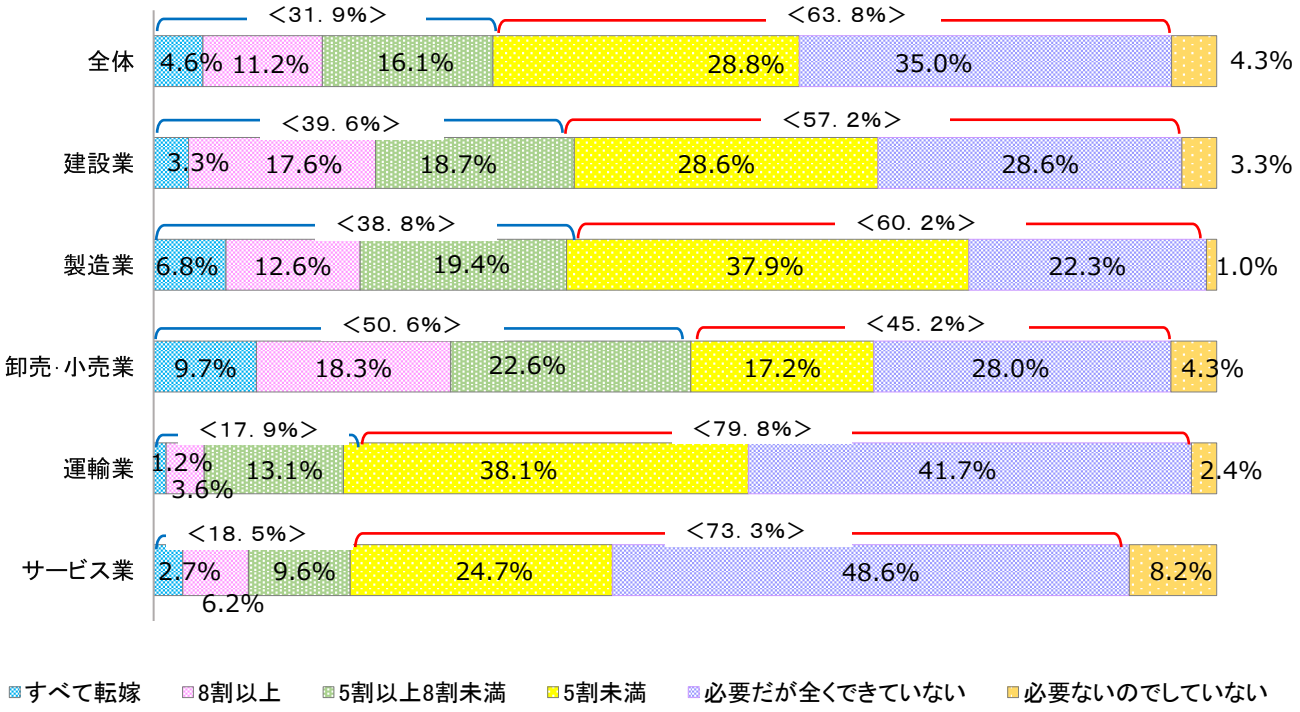
（2）経営に影響を与えている品目　　（複数回答）

経営に影響を与えている品目について、最も多かった回答は、「燃料（ガソリン・重油・軽油・灯油・ガス）」の89.7%で、次いで「石油製品」が38.1%、「鉄鋼」が23.3%と続く。

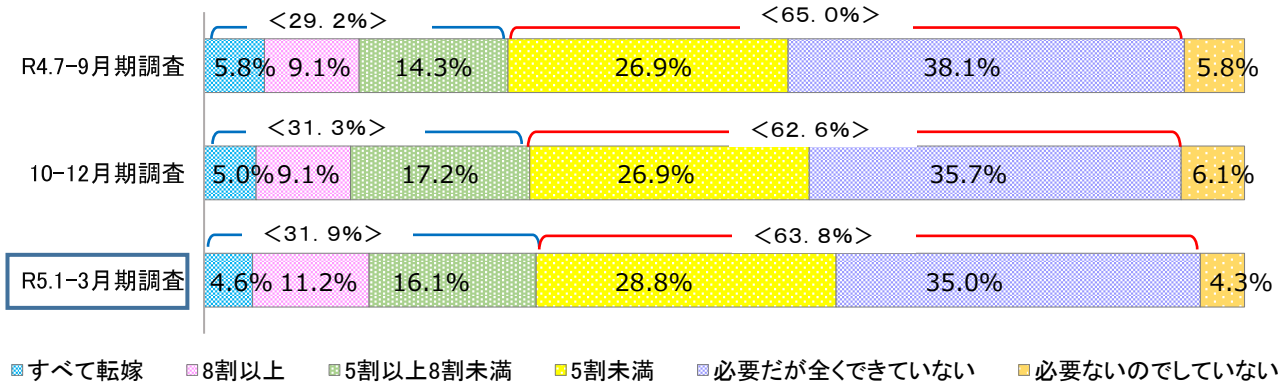


（3）価格転嫁の状況

「5割以上価格転嫁できている」企業は、全体では31.9%（前回調査から0.6ポイント増加）。
特に、運輸業（17.9%）、サービス業（18.5%）では、価格転嫁が進んでいない。

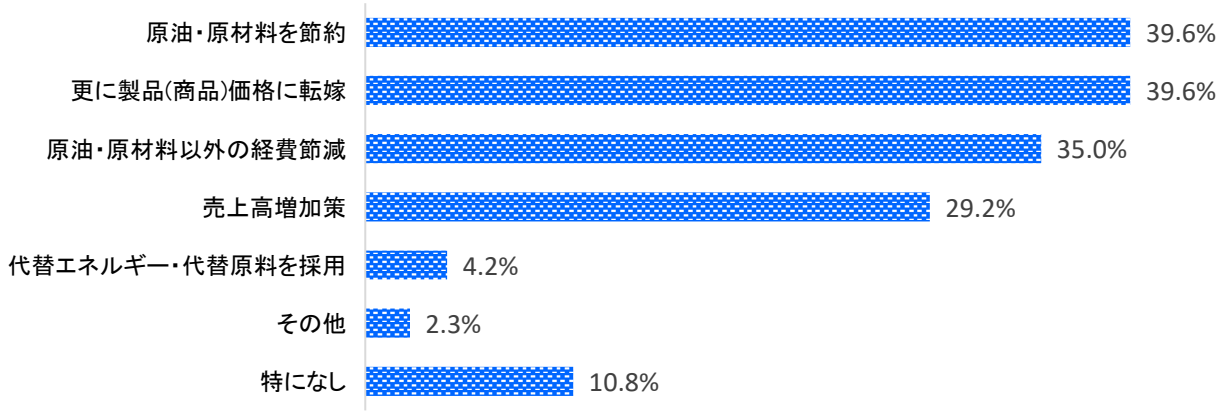


調査開始以降、「5割未満」及び「必要だが全くできていない」企業の割合は、6割程度の水準で推移し、依然として、価格転嫁が進んでいない状況がうかがえる。



（4）経営への影響緩和対策（複数回答）

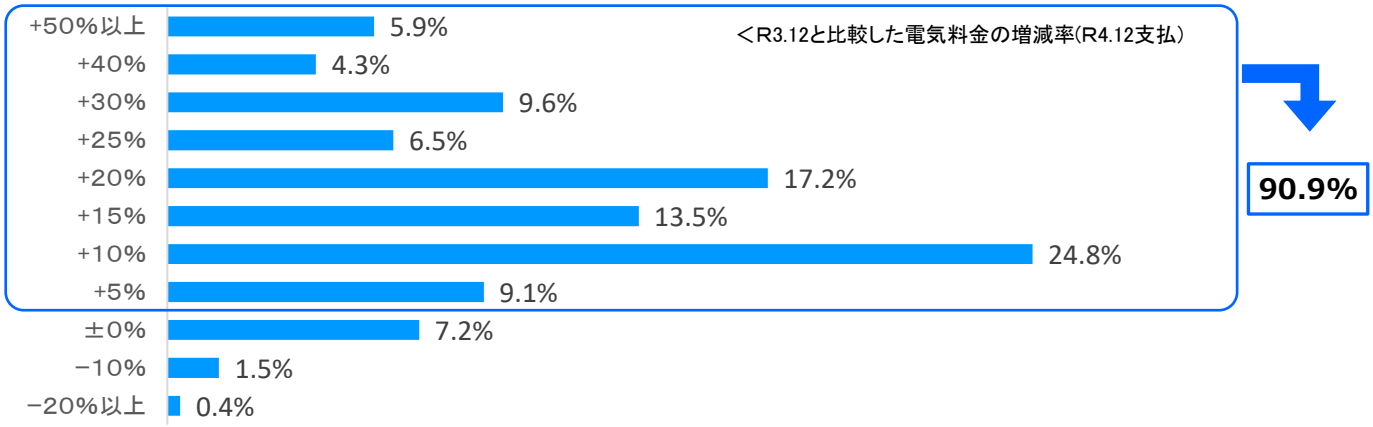
経営への影響緩和の対策としては、「原油･原材料を節約」と「更に製品（商品）価格に転嫁」がともに39.6%と最も多くなっている。



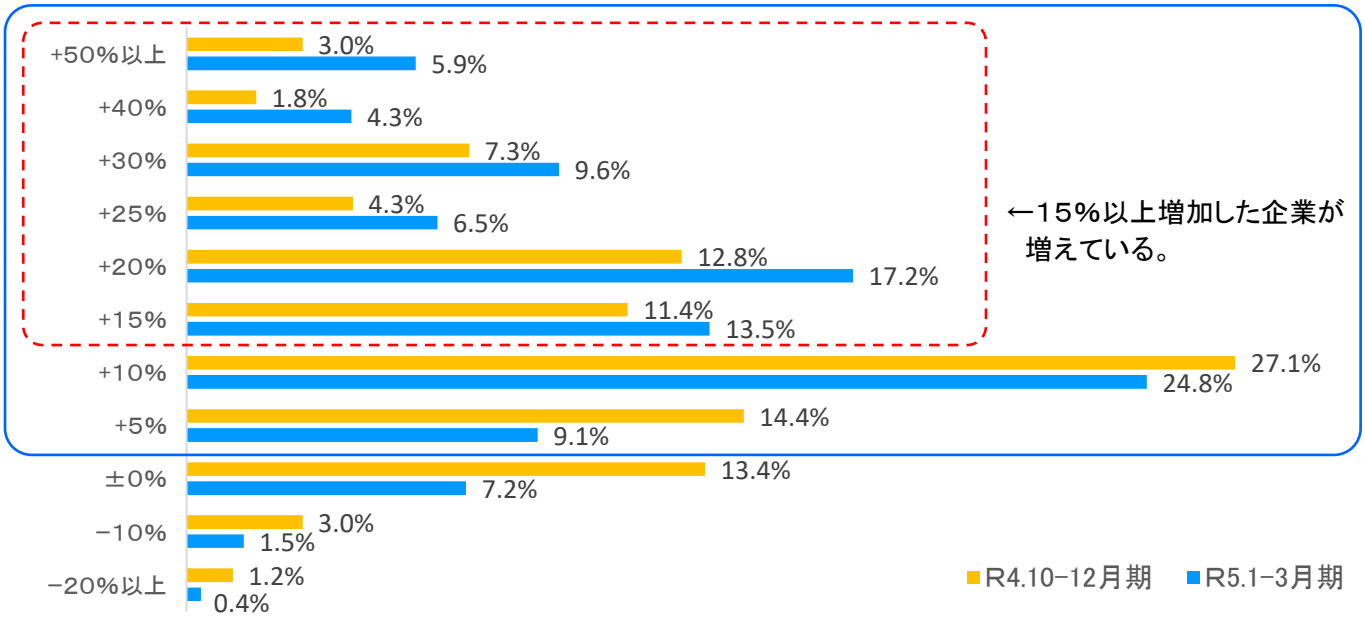
3 電気料金の上昇について

（1）R3年12月と比較した電気料金の増減状況(R4年12月に支払った電気料金）

R4年12月に支払った電気料金は、一年前（R3年12月）と比較し、9割以上の企業で増加。
増加率は、「10%増加」が最も多く24.8%、次いで「20%増加」が17.2%であった。

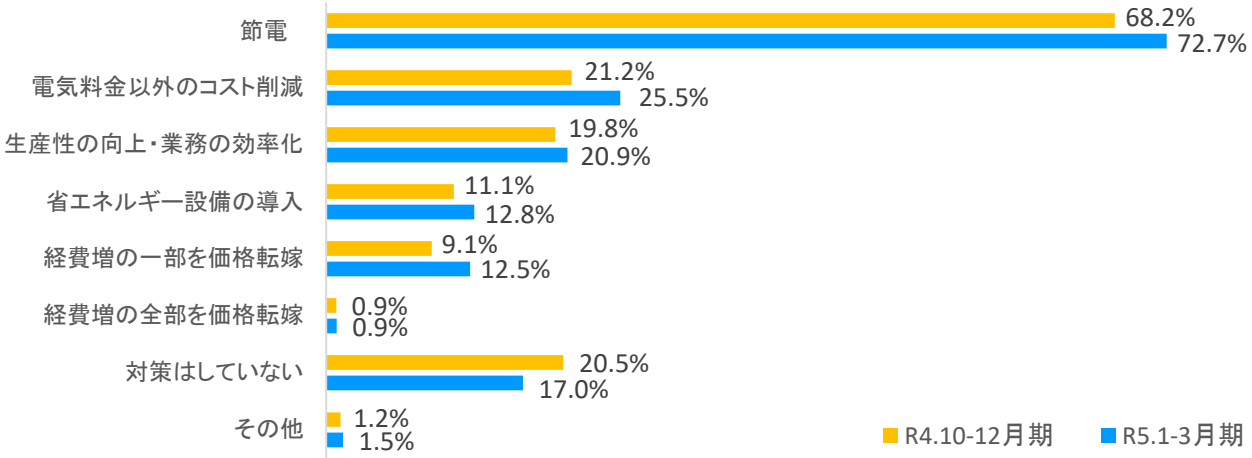


前回調査（R3.9と比較したR4.9に支払った電気料金の増減状況）と比較し、今回調査では、一年前と比べて電気料金が増加した企業の割合が増えている。（82.1%⇒90.9%）



（2）電気料金上昇の対策（複数回答）

電気料金上昇の対策として最も多かった回答は「節電」72.7%で、次いで「電気料金以外のコスト削減」25.5%、「生産性の向上・業務の効率化」20.9%と続く。
一方、「対策はしていない」との回答は、前回調査よりも減少してはいるが17.0%あった。



4　調査方法

1　調査内容

道内の企業経営者に対し、自社の経営状況や景気の見通し、経営を取り巻く環境変化などについて四半期毎に調査を実施

2　調査時点

令和5年3月31日

3　調査方法

「郵送」又は「インターネット」によるアンケート調査

4　調査対象及び回答企業数

区　分		調査対象企業数(A)	回　答企業数(B)	回答率 (B／A･%)
総　計		900	546	60.7%
	札幌市を除く	701	419	59.8%
	札幌市	199	127	63.8%
業種	建設業	125	92	73.6%
	製造業	150	103	68.7%
	卸売･小売業	188	99	52.7%
	運輸業	131	89	67.9%
	サービス業	306	163	53.3%
資本金	5千万円未満	618	363	58.7%
	5千万円以上～1億円未満	156	99	63.5%
	1億円以上	126	84	66.7%
地域	道南	109	66	60.6%
	道央	382	245	64.1%
	札幌市を除く	183	118	64.5%
	札幌市	199	127	63.8%
	道北	132	86	65.2%
	オホーツク	89	44	49.4%
	十勝	94	51	54.3%
	釧路･根室	94	54	57.4%

（注）［道南］・・・・・渡島総合振興局、檜山振興局
［道央］・・・・・空知総合振興局、石狩振興局、後志総合振興局、胆振総合振興局、日高振興局
［道北］・・・・・上川総合振興局、留萌振興局、宗谷総合振興局
［オホーツク］・・オホーツク総合振興局
［十勝］・・・・・十勝総合振興局
［釧路・根室］・・釧路総合振興局、根室振興局

5　BSI（Business Survey Index）指標について

この調査では、企業経営者の業況感等について、当該四半期の状況を前年同期と比較して（景況感は前期）、「上昇」「横ばい」「下降」の選択肢により調査し、各BSI指標を次により算出。

BSI＝（「上昇」とする企業の割合（%））－（「下降」とする企業の割合（%））
（－100≦BSI≦100）

【計算例（企業数：200 社）】

業況感について、「上昇」とした企業 20 社、「横ばい」とした企業 120 社、「下降」とした企業 60 社の場合

$$\frac{20\text{社}}{200\text{社}}\times 100 - \frac{60\text{社}}{200\text{社}}\times 100 = 10\% - 30\% = -20$$

よって、この場合の業況感ＢＳＩはマイナス 20　　※小数点以下の端数がある場合は四捨五入

その先の、道へ。北海道

企業経営者意識調査（第137回）

令和５年４月発行

編集・発行北海道経済部経済企画局経済企画課
ＴＥＬ011-204-5139

「企業経営者意識調査」の結果は、経済企画課のウェブサイトでもご覧いただけます。
https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/bsi.html